

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	学びたいときに学べる学習機会の充実	施策コード	51101	施策主管部課	生涯学習部 生涯学習課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生涯学習機会の充実			関係課	図書館
	(3) 節の目的	誰でも、いつでも、どこでも学べるように、学習の場と機会の充実をすすめます。また、学習で得た知識を社会にかすためのしくみを充実し、まちづくり活動として発展していくように支援します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が学びたいときに学ぶことのできるよう、図書館や鳥の博物館、白樺文学館、視聴覚ライブラリーなどの学習事業や公民館の学級・講座・生涯学習出前講座の拡充などにより、学習機会の充実に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
どういう状態に		学習サービスが充実し、学びたいときに学ぶことができる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	ニーズを踏まえた学習機会を充実させるとともにより多くの市民に学んでもらえるよう、様々な主体と連携しながら学習情報の効果的な発信に努めていく必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 生涯学習出前講座の受講者数	約250のメニューがある生涯学習出前講座の受講生が増えることで、学習機会の充実度が判断できるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	4,000	4,000	3,100	3,100
		実績値		721	1,134		
		達成率		18.03	28.35		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	124,844	131,847	115,545	115,542
		人件費	65,163	50,730	61,944	61,944
		合計	190,007	182,577	177,489	177,486
	(10) 実績値 (千円)	事業費	124,844	129,848		
		人件費	65,163	50,730		
合計		190,007	180,578			

施策を構成する事務事業

事務事業名	視聴覚機材等の貸出				課名	生涯学習課	
指標	視聴覚機材等利用件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	166	目標値	200	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	79	達成率	39.50				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	252
						実績値	252
							890

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

家電製品やインターネットが一般家庭に普及したことで、視聴覚教材や機材の貸出の需要は減少傾向にある。そのため、現在所管する教材や機材について選り分け、維持費等の負担を軽減する必要がある。

事務事業名	出前講座の運営				課名	生涯学習課	
指標	出前講座メニュー利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	3,199	目標値	3,500	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1,134	達成率	32.40				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	821
						実績値	752
							1,780

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

生涯学習推進のため、市の様々な事業を市民に理解してもらうとともに、市民同士の親睦を深めることにつながるため必要不可欠である。

事務事業名	保育スタッフによる一時保育事業				課名	生涯学習課	
指標	保育利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	159	目標値	235	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	82	達成率	34.89				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	911
						実績値	861
							890

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

育児への支援となるため現状のまま維持する必要がある。

事務事業名	アビコでなんでも学び隊				課名	生涯学習課	
指標	満足度				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	99	目標値	96	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	99	達成率	103.13				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	2,877
						実績値	2,849
							0

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

応募率が40.6%あり、子ども達の興味関心の高さがうかがえる。参加者の満足度も高く、貢献度は高いと考える。

事務事業名	カウンターサービス(貸出・返却・予約・案内・調べもの・配架等)				課名	図書館	
指標	相談業務受付件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	32,691	目標値	32,900	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	32,678	達成率	99.33				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	60,809
						実績値	59,909
							24,475

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市民のニーズに応えられるよう、資料費の確保に努めながら必要な資料を選定していく。

事務事業名	ハンディキャップサービス(図書館利用に障害がある方へのサービス)				課名	図書館	
指標	宅配、郵送、対面朗読各サービス年間利用件数(合計)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1,195	目標値	1,197	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1,336	達成率	111.61				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	949
						実績値	945
							890

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

ハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するために、実施および推進する必要のある事業である。

事務事業名	施設・団体への貸出サービス				課名	図書館	
指標	年間登録団体数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	452	目標値	457	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	381	達成率	83.37				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	1,619
						実績値	1,636
							2,492

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市民の学習機会を充実させるために、本事業は必要である。

事務事業名	移動図書館業務(委託)				課名	図書館	
指標	移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数合計				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	21,781	目標値	21,800	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	42,014	達成率	192.72				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	33,446
						実績値	32,714
							1,780

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

令和4年度から巡回日程を見直し、学校巡回も通常巡回に組み込み実施する。

施策を構成する事務事業

事務事業名				読書普及活動（講師派遣・出前講座）		課名	図書館			
指標	出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞か			政策・経常		□政策 ■経常 □なし				
現況値	30	目標値	31	単位	件	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値	13	達成率	41.94			予算額	127	2,403		
事務事業の施策への貢献度				●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	61	2,403

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民が集まる場所に出向き、図書館案内や絵本の読み聞かせなどを行うことにより、より多くの市民が読書への関心を持ち、図書館を利用するきっかけになるため、重要な事業である。

事務事業名				成人・青少年へのサービス		課名	図書館			
指標	年間貸出利用者数（12歳以下・団体利用は除く）			政策・経常		□政策 ■経常 □なし				
現況値	240	目標値	241	単位	千人	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値	170	達成率	70.54			予算額	23,549	4,895		
事務事業の施策への貢献度				○高い ●普通 ○低い		評価	結合	実績値	22,449	4,895

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

新型コロナウイルスまん延防止の観点からも、安心安全に利用していただくようサービスを継続する。

事務事業名				郷土行政資料サービス		課名	図書館			
指標	郷土行政資料（我孫子資料・千葉県資料）の年間貸出冊数			政策・経常		□政策 ■経常 □なし				
現況値	2,967	目標値	2,980	単位	冊	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値	3,228	達成率	108.32			予算額	1,423	1,335		
事務事業の施策への貢献度				○高い ●普通 ○低い		評価	結合	実績値	1,437	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

新型コロナが収まりつつある中で地域資料を少しずつでも増やすことが出来、貸出に供することが出来た、また市民の地域を知ろうとする学習機会にも努めた。

事務事業名				児童へのサービス		課名	図書館			
指標	文字活字文化の日（関連事業）よむよむラリーのゴール数			政策・経常		□政策 ■経常 □なし				
現況値	1,521	目標値	1,525	単位	枚	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値	1,768	達成率	115.93			予算額	5,064	8,900		
事務事業の施策への貢献度				●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	5,983	8,900

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を見つけていく上で、読書活動は欠くことのできないものであるため、専門職を中心に、よい本を選び提供していくことが必要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民一人ひとりが充実した人生を過ごすためにも、また、学んだ成果を人づくりやまちづくりに活かしてもらうためにも、ニーズを捉え、生涯学習センターをはじめとした様々な学習施設を活用しながら、市民が学びたい時に学べる環境を整えていくことが大切である。	学びたい時に学べるように学習環境を整えることで、市民生活の向上やまちづくり活動の活発化などにつながっていくことが期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
令和3度も新型コロナウイルス感染症の影響により、社会教育施設について時間短縮を実施した期間がありました。しかし、各施設において、感染予防を徹底しながら、市民団体や事業者、大学、研究機関などと連携し講座や学級、イベントを実施することができ、学びたい時に学べる学習機会の充実を図ることができた。今後も感染が収束した際には、様々な主体と連携をとりながら引き続き学びたい時に学べる機会を充実させ、市民の学習につながるよう努めていく。	感染予防を徹底しながら、施策を推進することができた。人生のどのライフステージでも学ぶことができるよう、引き続き効率的効果的な手法をとりながら学習環境を整えていく。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援	施策コード	51102	施策主管部課	生涯学習部 生涯学習課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生涯学習機会の充実			関係課	図書館 企画課
	(3) 節の目的	誰でも、いつでも、どこでも学べるように、学習の場と機会の充実をすすめます。また、学習で得た知識を社会にかすためのしゅみを充実し、まちづくり活動として発展していくように支援します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくよう、市民ニーズの高い社会や地域の課題などをテーマとした学習事業を実施します。また、まちづくりを担う人材が育つよう、市民の自主的な学習活動を支援します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	地域のまちづくりを担う人材			
どういう状態に		多数育成されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	時代の変化や地域の課題に対応した学習事業の成果を確認し、学習事業に反映していく必要がある。					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	① 生涯学習課・図書館・鳥の博物館の共催・後援数		市民や団体が行う学習活動やまちづくり活動との共催や後援は、人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援であるため。				
	② 市民一人あたりの図書等の貸出冊数		図書等の貸出冊数を把握することで、市民の自主的な学習活動の活発度が判断できるため。				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	①	目標値	件	57	57	57	57
		実績値		45	34		
		達成率		78.95	59.65		
	②	目標値	冊	9.5	9.5	9.5	9.5
		実績値		5.2	6.9		
		達成率		54.74	72.63		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	19,936	20,434	21,515	21,515
		人件費	28,188	31,951	30,972	30,972
		合計	48,124	52,385	52,487	52,487
	(10) 実績値 (千円)	事業費	19,936	19,285		
		人件費	28,188	31,951		
合計		48,124	51,236			

施策を構成する事務事業

事務事業名 平和事業の実施					課名 企画課				
指標 派遣中学生発表会の来場者数の増加率（2020年度の来場者数／2021年					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	0	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	0	達成率	0.00						
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	1,375	3,382
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点より、事業を縮小しての実施となってしまうが、より多くの市民に平和について知り、考えてもらうためにも、引き続き事業を進めていく必要がある。									
事務事業名 成人式					課名 生涯学習課				
指標 成人式への出席率					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	75	目標値	70	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	72	達成率	102.86						
事務事業の施策への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	3,616	8,455
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
新成人が自立し、大人の社会へ仲間入りすることを自覚するためのひとつの区切りとして成人式を開催し、合わせて地域への愛着を感じてもらえるような企画を計画し、人づくり、まちづくりに貢献できる事業として、今後も継続して事業を推進していく。									
事務事業名 のびのび親子学級					課名 生涯学習課				
指標 受講者満足度					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	80	目標値	85	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	117.65						
事務事業の施策への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	3,183	5,340
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
子育て支援事業が充実し、当学級と並行して参加している受講者多い。また、幼稚園のプレ保育は何か所も申し込みが可能であるなど、受け皿も増えている。こうした、子育て環境の変化を受け、働いている方が育児休暇を取って参加しやすい時期であるため									
事務事業名 公民館連絡協議会事務					課名 生涯学習課				
指標 東葛飾公民館連絡協議会の研修への参加者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	0	目標値	30	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	20	達成率	66.67						
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	見直し	実績値	796	445
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
東葛飾地区公民館連絡協議会への参画は必要である。									
事務事業名 家庭教育学級					課名 生涯学習課				
指標 受講者満足度（家庭教育の大切さを感じ、実践した受講生の割合）					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	70	目標値	75	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	85	達成率	113.33						
事務事業の施策への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	1,412	1,335
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
受講者が学習内容を家庭や地域で実践することにより、人づくり、まちづくりという施策の実現に貢献している。年間の学習活動を通じて参加者同士の交流を図り、自主的な活動へ繋がるよう、学級運営の工夫に努めながら、推進していく。									
事務事業名 熟年備学					課名 生涯学習課				
指標 学習内容に関心を持った学級生の割合					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	80	目標値	85	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	80	達成率	94.12						
事務事業の施策への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	1,380	445
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
今までのまちづくりにつながる講座内容に加え、健康寿命の延伸をテーマに加えるなどの工夫をした。今後も、学習の成果が健康寿命の延伸をし、さらには地域活動やまちづくりにつながるように、講座内容を工夫しながら進める。									
事務事業名 長寿大学					課名 生涯学習課				
指標 地域活動への意識割合					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	75	目標値	75	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	75	達成率	100.00						
事務事業の施策への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	6,489	6,230
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
地域活動等に人材を輩出するなど、目的を果たしており、継続学級が立ち上がるなど人づくり、まちづくりに貢献していることから、今後も継続して実施していく必要がある。									
事務事業名 図書館会議室及び展示スペースの提供					課名 図書館				
指標 布佐分館会議室の利用回数（年間）					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	110	目標値	111	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	94	達成率	84.68						
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	113	267
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
市民の自主的な学習機会の発表の場を提供するために今後も継続すべき事業である。									

施策を構成する事務事業

事務事業名	図書館PR				課名	図書館	
指標	ホームページの年間アクセス数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1,374	目標値	1,062	単位	千件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	767	達成率	72.22			予算額	597
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	695

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

図書館ホームページを利用したインターネットサービスは、利用者の利便性の向上及び図書館業務の簡素化に寄与しており、今後も利用促進を図りながら継続すべき事業である。

事務事業名	実習生受入れ・施設見学(一般・児童・生徒)				課名	図書館	
指標	アビスタ探検隊参加者・図書館見学等参加者・実習生受入人数の合計				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	987	目標値	990	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	795	達成率	80.30			予算額	223
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	226

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

職業体験や施設見学を行うことにより、将来の進路や職業選択の参考となるよう市民を支援していくことは、公共施設の重要な任務である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民との協働によるまちづくりの推進が求められている中、社会や地域の課題に関する学習事業を実施するなど、学んだ成果を地域や社会に還元できる人材を育成し、まちづくりにつながるように努める必要がある。そのためにも、社会教育主事資格を持つ職員を中心とした支援体制の強化を図っていく。	市民が、社会的関心の高いテーマや地域の課題を学習し、学んだ成果を社会や地域に還元できる人材を発掘・育成していくことで、市民との協働によるまちづくりの進展が期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種講座や学級の定員数縮小、施設の時間短縮などを行ったが、図書館による図書の貸出や公民館の学級や講座などを通じて、社会や地域に自分の力を還元できる人材の育成・発掘、つなぎを行うことができた。人づくり・まちづくりは着実な取組が必要であり、引き続き様々な主体と連携をしながら効率的効果的に学習活動の支援を行っていく必要がある。	各種講座・学級については感染予防を徹底しながら実施し、人づくり、まちづくりにつながる学習支援を行えたと考える。感染拡大の中で地域での活動などが制限されたが、継続的な取り組みが結果に表れるため、引き続き施策を推進していく。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	学習施設の整備・充実	施策コード	51103	施策主管部課	生涯学習部 生涯学習課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生涯学習機会の充実			関係課	図書館 鳥の博物館	
	(3) 節の目的	誰でも、いつでも、どこでも学べるように、学習の場と機会の充実をすすめます。また、学習で得た知識を社会にかすためのしゅみを充実し、まちづくり活動として発展していくように支援します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	学習する場の充実を図るため、公民館や図書館、鳥の博物館、白樺文学館などの施設の充実や、学習の拠点施設の整備を計画的に進めるとともに、学校施設など既存施設の有効活用を推進し、身近な場所で学習ができるようにします。また、湖北地区図書館の整備については、湖北台地区に立地し、老朽化への対応が急がれるその他の公共施設と合わせて、引き続き検討していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	学習施設				
		どういう状態に	計画的な整備・充実が図られ、有効活用されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	限られた財源の中で対応していかなければならないため、改修や修繕の手法を検討するなど工夫をしていく必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① アピスタ（公民館・図書館）の年間利用者数	アピスタは市の生涯学習の核となる施設であり、これにより市の施設の魅力度が判断ができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	680,000	680,000	680,000	680,000
		実績値		259,113	375,168		
		達成率		38.10	55.17		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	198,098	383,530	234,774	468,503	
		人件費	45,762	54,646	51,353	52,866	
		合計	243,860	438,176	286,127	521,369	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	198,098	361,664			
		人件費	45,762	54,646			
合計		243,860	416,310				

施策を構成する事務事業

事務事業名	常設展の充実				課名	鳥の博物館		
指標	来館者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	32,580	目標値	33,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	25,638	達成率	77.69			予算額	4,486	89
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	4,417	89

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

常設展示施設の内容が豊かになることにより、充実した学習機会を提供することができるため。

事務事業名	企画展の実施				課名	鳥の博物館		
指標	来館者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	32,580	目標値	33,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	25,638	達成率	77.69			予算額	3,628	1,780
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	3,305	1,780

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

常設展示に加え、企画展が行われて内容がより多彩になることで、学習施設をより充実させることができた。

事務事業名	博物館施設設備の維持管理				課名	鳥の博物館		
指標	入館者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	32,580	目標値	33,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	25,638	達成率	77.69			予算額	16,438	5,429
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	14,468	5,429

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公共施設の維持管理を行い、安心して来館できる施設にすることは必要である。

事務事業名	友の会・市民スタッフの活動支援				課名	鳥の博物館		
指標	友の会・市民スタッフの登録人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	309	目標値	320	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	268	達成率	83.75			予算額	482	1,335
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	404	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

展示や行事の開催等に市民が参加することで、施設の充実に貢献するだけでなく、運営側にも回ることで多様な学びの機会を提供することができる。

事務事業名	常設展示リニューアル				課名	鳥の博物館		
指標	文献等資料数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	60	目標値	65	単位	点	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	60	達成率	92.31			予算額	0	2,848
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	2,848

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

最新の科学的知見や展示手法は、学習施設の整備・充実をはかる上で不可欠である。

事務事業名	地域交流教室の管理・運営				課名	生涯学習課		
指標	地域交流教室の利用率（総使用コマ数／使用可能コマ数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	44	目標値	50	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	29	達成率	58.00			予算額	459	2,670
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	456	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地域交流教室利用者と子どもとの交流のために、利用する機会を増やす検討が必要。

事務事業名	施設管理事務				課名	生涯学習課		
指標	予定保守管理執行率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	234,159	7,565
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	221,702	7,565

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も適正な施設の整備、充実を行えるように一層の努力をしていきたい。
我孫子市公民館長寿命化計画に沿った施設修繕のため、必要十分な予算の確保が今後の課題である。

事務事業名	湖北地区公民館の運営				課名	生涯学習課		
指標	1年間の延べ利用者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	172,238	目標値	175,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	84,053	達成率	48.03			予算額	87,722	3,115
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	81,337	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市の東側をカバーする生涯教育施設として、市民の学習機会を確保する役割を果たしている。

施策を構成する事務事業

事務事業名	図書館の情報化推進				課名	図書館	
指標	インターネット及び館内検索コンピュータからの予約（リクエスト）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	101	単位	千件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	99	達成率	98.02				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	5,015 8,010

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

図書館電算システムの整備は、資料管理及び市民の学習機会の提供のために必要な事業である。

事務事業名	図書館施設・設備維持管理				課名	図書館	
指標	施設の安全性達成率（修繕実施箇所／安全確保のための必要修繕箇所）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	12,814 8,544

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後とも、施設的环境整備に努め、安全で快適な読書環境を市民に提供していく必要がある。

事務事業名	図書館資料管理				課名	図書館	
指標	所蔵資料数（図書・雑誌・AV資料）に対する最終不明資料の割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0.2	目標値	0.19	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0.12	達成率	158.33				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	18,327 13,083

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

資料の入手と廃棄は図書館事業の根幹である。市民が自主的に学習する機会を支援するためにも、資料管理は重要な事業といえる。

事務事業名	図書館の整備				課名	図書館	
指標	館内会議における進行管理報告と見直しの協議				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	3	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	3	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0 178

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

図書館運営今後のあり方は我孫子市の図書館サービス実施における指針となるため重要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>市民が学びたいときに学べる学習機会の充実や、市民の自主的な学習活動を支援していくうえで、身近な場所における様々な学習施設の整備・充実が欠かせない。整備の必要性、重要性、緊急性を踏まえて優先順位を考え、限りある予算の中で工夫をしながら市民の学習できる場を整えていくことは必要である。</p>	<p>学習施設の整備・充実を図ることで、市民の学習活動が活発になることが期待できる。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の時間短縮などを余儀なくされたことで、利用者数が減少した。感染が収束するまでは「新しい生活様式」に基づき、施設の入館者数の制限や換気、消毒等を徹底し、また老朽化に伴う計画的な補修・修繕を行うとともに、効率的効果的な施設運営に向けて工夫に努めた。</p> <p>引き続き、市民ニーズを踏まえた整備を行い、快適に学習できるような環境を整えていく。</p>	<p>学習施設では新型コロナウイルス感染症に対応した予防策を講じた。また、施設の更新・修繕についても、市の公共施設等総合管理計画に基づき、着実に取り組んだ。引続き市民の学習環境を充実するために計画的な施設の維持管理に努め、施策を推進していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	市民の学習活動を支える体制の整備	施策コード	51201	施策主管部課	生涯学習部 生涯学習課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生涯学習体制の整備			関係課	図書館 鳥の博物館	
	(3) 節の目的	さまざまな学習活動団体や関係機関が相互に連携するしくみをつくり、情報の提供や、活動を支える体制を充実します。また、地域の人材を生涯学習にいかすしくみや、生涯学習を支える人が育つ環境をつくります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民の学習活動を活発にするため、市が行う生涯学習関連事業の体系化や事業内容の充実、情報の共有化などを進めて、生涯学習振興に関する行政施策を総合的に推進します。また、学習に関する情報提供、相談体制の充実を図るとともに、他の自治体や市民団体、大学、研究機関、企業などとの連携を強化するなど、市民の学習活動を支援する体制を整備します。さらに、専門的な技術・経験・知識を持つ市民を講師として学習活動にいかしていきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
どういう状態に		学習活動を支援する体制が整備されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	学んだ成果を人づくりやまちづくりに活かしてもらうためには、学習情報のみならず市民の様々な活動情報を効果的に提供し、連携できるような環境づくりに努める必要がある。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 「生涯学習の機会充実や推進体制の整備」施策に	市民アンケートにおける施策の満足度で、施策目標の達成度が判断できるため。					
	② 大学図書館との図書の利用件数	大学図書館との連携強化は、市民の学習活動を支援する体制の強化につながるため。					
	③ 市民講師による生涯学習出前講座のメニュー数	生涯学習出前講座のメニュー数で、市民の学習活動を支援する体制の充実度が判断できるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	60	60	60	60
		実績値		0	81		
		達成率		0.00	135.00		
	②	目標値	件	30	30	30	30
		実績値		0	0		
達成率		0.00		0.00			
③	目標値	件	150	150	150	150	
	実績値		138	138			
	達成率		92.00	92.00			

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	15,357	8,213	8,313	8,313
	人件費	22,533	19,313	23,407	23,407
	合計	37,890	27,526	31,720	31,720
(10) 実績値 (千円)	事業費	15,357	7,507		
	人件費	22,533	19,313		
	合計	37,890	26,820		

施策を構成する事務事業

事務事業名	鳥類生息状況調査				課名	鳥の博物館		
指標	調査回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	14	目標値	14	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	14	達成率	100.00			予算額	1,149	890
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,048	890

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民が地域の環境について学ぶための基礎資料を提供し、学習活動を支える。

事務事業名	鳥類標本・資料の収集				課名	鳥の博物館		
指標	収集標本数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3,551	目標値	3,700	単位	点	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,684	達成率	99.57			予算額	1,589	89
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,525	89

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

デジタル化によって、2次元の情報が多くを占める現代情報化社会において、実物の剥製標本は自然環境について理解するための貴重な基礎資料となり、実物を体験する活動は市民の学習に必要な不可欠である為、積極的に推進する必要がある。

事務事業名	図書・映像資料の整理とデータ作成				課名	鳥の博物館		
指標	書籍蔵書数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	4,505	目標値	4,550	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4,682	達成率	102.90			予算額	1,311	89
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,194	89

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の学習活動を支える基盤として、今後も可能な範囲で図書の購入や資料収集を進める。

事務事業名	生涯学習普及啓発事業				課名	生涯学習課		
指標	生涯学習ニュース発行回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2	目標値	2	単位	回数	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	100.00			予算額	1,212	6,675
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,084	6,675

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も市民の多様なニーズに対応するため、質の向上を目指しながら庁内・外で連携して事業を継続して実施していく必要がある。

事務事業名	生涯学習に関する情報提供と相談対応				課名	生涯学習課		
指標	人材情報、団体・グループ情報（ホームページ）へのアクセス数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3,564	目標値	3,300	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,104	達成率	94.06			予算額	161	3,115
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	161	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民が自由に学ぶことができる環境を確保することは、生涯学習の理念に照らし合わせても重要な施策である。

事務事業名	生涯学習推進計画の進行管理				課名	生涯学習課		
指標	実施計画に位置づけられた事業の進捗率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	629	5,340
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	320	5,340

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

生涯学習における様々な事業について、市民から選出された委員に意見を聞き、常にニーズを把握することは、生涯学習を推進していくうえで必要不可欠である。

事務事業名	市外図書館・大学・関係機関との連携協力				課名	図書館		
指標	年間相互貸借冊数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	7,263	目標値	7,500	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	7,802	達成率	104.03			予算額	2,112	1,958
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,125	1,958

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の多種多様な学習ニーズに応えるため、全国の図書館や類縁機関等との連携協力は不可欠である。資料費の効率的な運用にも効果的なサービスであり、今後も継続し推進していく。

事務事業名	子どもの読書活動推進計画の進行管理				課名	図書館		
指標	学校図書館との連携による授業支援				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	73	目標値	74	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	33	達成率	44.59			予算額	50	1,157
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	50	1,157

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事前連絡による授業支援のほか、移動図書館の学校巡回において授業に利用できる図書を移動図書館車に載せるなどして子どもの読書活動を支援していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市民の学習活動が活発になるよう、他の自治体や市民団体、大学、研究機関などとの連携を強化するとともに、学習に関する様々な情報の提供や相談に対応できる体制を整えていく必要がある。	学習情報の提供や相談体制の整備、関係機関との連携強化により、市民の学習活動が活発になることが期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
新型コロナウイルス感染予防として三密を避けるなど施設の利用制限やインターネットを活用した打合せなど新たな手法も取り入れなければならなくなっている。 このような状況下でも学習活動を支援できる体制・手法について継続して調査研究に努める必要がある。	新型コロナウイルス感染症の影響で関係団体との連携は十分行えなかったものの、学習情報の提供やデータの集積などは行えた。 学習環境の変化に伴い、WEB学習などの手法を取り入れ、引き続き市民の学習活動を支援できるよう施策を工夫しながら推進していく。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用	施策コード	51301	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	スポーツの振興			関係課		
	(3) 節の目的	誰もが、いつでも、生涯をととしてスポーツを楽しめる環境をつくります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	安全で快適に活動できる環境を整備するため、市民体育館など市のスポーツ施設の適正な維持管理を行うとともに、民間や近隣市町の体育施設を活用するなど、活動場所の確保に努めます。また、施設の修繕を計画的に実施するとともに、新たな武道施設の整備について、手法も含めて慎重に検討を進めていきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
どういう状態に		安全で快適なスポーツ活動を行うことができる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<p>市民体育館施設を始めとした各社会体育施設や学校体育施設等の各種スポーツ施設は、老朽化が著しく進行しており、今後、計画的な修繕、改修を行っていく必要がある。また、社会体育施設については、施設の効果的・効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を活用している。</p> <p>2箇所が多目的広場、市営ゲートボール場は、土地借上げによる施設となっていることから、安定的な場の確保が問題となっている。</p> <p>五本松運動広場について、再整備に向けて、財源確保や整備・維持管理・運営方法について検討し、効果的・効率的に整備できるように検討が必要</p>						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 体育施設の延べ利用者数	施設利用者数を参考にすることで、スポーツを通じた交流や健康づくりを促進できているか把握するため					
	② 学校体育施設開放利用者数	学校体育施設開放利用者を参考にすることで、地域の交流、健康づくり促進ができているか把握するため					
	③ 市民体育館利用者数	市民体育館利用者数を参考にすることで、健康増進に寄与できているか把握するため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	100,000	105,000	110,000	110,000
		実績値		63,227	79,959		
		達成率		63.23	76.15		
	②	目標値	人	210,000	210,000	210,000	210,000
		実績値		70,693	107,728		
達成率		33.66		51.30			
③	目標値	人	175,000	220,000	225,000	230,000	
	実績値		84,248	146,062			
	達成率		48.14	66.39			

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	451,457	138,975	226,175	507,598
		人件費	19,575	17,177	20,025	20,025
		合計	471,032	156,152	246,200	527,623
	(10) 実績値 (千円)	事業費	451,457	134,080		
		人件費	19,575	17,177		
合計		471,032	151,257			

施策を構成する事務事業

事務事業名	体育施設管理運営事業				課名	文化・スポーツ課	
指標	体育施設の延べ利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	63,227	目標値	100,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	79,959	達成率	79.96			予算額	13,942
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	13,584

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、市民が安全で快適に活動できる環境を整備するという施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き推進していく。

事務事業名	学校体育施設開放事業				課名	文化・スポーツ課	
指標	延べ利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	70,693	目標値	210,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	107,728	達成率	51.30			予算額	1,739
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	172

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、市民のスポーツ活動場所の確保という施策の実現に効果的な事業となっている。

事務事業名	体育施設維持補修・改修(含む放射能対策)				課名	文化・スポーツ課	
指標	維持補修の進捗率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	8,817
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	8,547

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、市民の健康維持・増進のため、身近な場所で安全で快適に活動できる環境を整備するという施策の実現に効果的な事業となっているため、現状どおり推進していく。

事務事業名	近隣市町との体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進				課名	文化・スポーツ課	
指標	一般開放している近隣市町・民間企業等の体育施設の数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	3	目標値	3	単位	施設	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	3	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、市民のスポーツ活動の場の確保として必要であり、市民の健康維持・増進を図るという施策の実現に効果的な事業となるため現状どおり推進していく。

事務事業名	武道施設の建設整備の検討				課名	文化・スポーツ課	
指標	地権者との交渉回数				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	0	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、市民のスポーツ振興という施策の実現に効果的な事業となるため、現状どおり推進していく必要がある。

事務事業名	市民体育館管理運営				課名	文化・スポーツ課	
指標	体育館施設の利用者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	84,248	目標値	175,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	146,062	達成率	83.46			予算額	112,076
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	109,513

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、指定管理者のノウハウを活かしスポーツ振興を図ることで、市民のスポーツ活動のの拠点として浸透していることから、現状どおり推進していく。

事務事業名	市民体育館維持補修				課名	文化・スポーツ課	
指標	維持補修進捗率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,422
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,285

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市民のスポーツ拠点施設として安全に利用してもらうため、今後も現状どおり推進していく必要がある。

事務事業名	市民体育館改修事業				課名	文化・スポーツ課	
指標	改修工事進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	979
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	979

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

利用者が安全に利用するために引き続き改修工事を進めていく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>市民が安全で快適にスポーツが行える環境を整えるために、計画的に施設を修繕することは有効な施策である。また、公共で不足する施設の民間施設活用は、市民がスポーツに親しむ環境づくりは、節の目的達成に有効な手段である。</p>	<p>スポーツ施設について、計画的に修繕を行うことは、市民が安全で快適にスポーツ活動を行い健康づくりがアデクする環境整備として必要である。また、不足するスポーツ施設の民間施設活用についても同様であり、引き続きスポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用を推進していくことは節の目的に合致しており有効な施策である。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>市民体育館など市が所有するスポーツ施設、学校体育施設の適切な管理・活用は、市民がスポーツに親しむ機会を提供するものである。また市内の民間スポーツ施設の利用は、市が提供するサービスを補完するものである。</p>	<p>市民が安全で快適にスポーツ活動を行い、健康づくりができる環境を整えるために、スポーツ施設を計画的に修繕することは目的を達成するために必要なものである。また、不足するスポーツ施設の民間施設活用についても同様であり、引き続きスポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用を推進していくことは節の目的に合致しており有効な施策である。</p>
改善検討	
施策展開の改善点と展開方向	
<p>五本松運動広場等の再整備にあたっては、民間資本活用も視野に置き柔軟に展開していく。</p>	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	生涯スポーツの推進	施策コード	51302	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	スポーツの振興			関係課	
	(3) 節の目的	誰もが、いつでも、生涯をとおしてスポーツを楽しめる環境をつくります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	健康の保持・増進や地域のコミュニケーションづくりを図るため、スポーツ推進委員などと連携し、誰もが参加できる総合型地域スポーツクラブを育成・支援します。また、生涯スポーツを支える人材を確保するため、スポーツ指導者の養成に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
どういう状態に		生涯を通してスポーツに親しむことができる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	<p>スポーツ・レクリエーション活動の拠点として、市内の中学校区毎に6つの総合型地域スポーツクラブが設立され活動を展開しているが、会員構成が高齢者中心となっているため、今後は子ども世代を取り込んだ総合型地域スポーツクラブの設立に向けてプレ事業を開催する。また、既存6クラブの充実を図る。</p> <p>生涯スポーツを支える人材を確保するため、我孫子市の公認スポーツ指導者養成講習会を開催し、「楽しく」「正しく」「安全に」スポーツ本来の楽しさや素晴らしさを伝えることのできる指導者の養成を行っていく。</p>					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 総合型地域スポーツクラブの会員数	生涯を通して健康・体力づくりを推進するための総合型地域スポーツクラブの会員数					
	② 公認スポーツ指導者の資格保持者数	多様化するスポーツニーズに対応するため指導者の確保が必要					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	500	1,000	1,000	1,000
		実績値		410	385		
		達成率		82.00	38.50		
	②	目標値	人	86	90	95	100
		実績値		95	91		
		達成率		110.47	101.11		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	16,524	13,940	17,047	17,047
	人件費	4,524	4,272	4,628	4,628
	合計	21,048	18,212	21,675	21,675
(10) 実績値 (千円)	事業費	16,524	6,499		
	人件費	4,524	4,272		
	合計	21,048	10,771		

施策を構成する事務事業

事務事業名	健康スポーツ普及事業				課 名	文化・スポーツ課	
指 標	イベント参加者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	1,233	目標値	11,000	単 位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1,297	達成率	11.79			予算額	13,940
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	6,499

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、市民の健康保持・増進やコミュニケーションづくりを図るという施策の実現に効果的な事業となっているため、現状どおり推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
既存の6つの総合型地域スポーツクラブに加えて新たな総合型地域スポーツクラブの設立は、今後の生涯スポーツを推進するために必要である。また、生涯スポーツを支える人材としての指導者養成を図ることなどは、節の目的に合致しており有効な手段である。	健康の保持・増進等を図るため総合型地域スポーツクラブを育成・支援していくことやスポーツ指導者の養成は、節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
総合型地域スポーツクラブは、参加する市民がスポーツを通じて仲間づくりをし、さらには地域づくりにつながる事業である。またスポーツ指導者養成講座の開催は、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の指導者の質を引き上げ、より良い運営につながるものである。	健康の保持・増進等を図るため総合型地域スポーツクラブを育成・支援していくことやスポーツ指導者の養成は、節の目的に合致しており有効な施策である。
改善検討 ●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
総合型地域スポーツクラブは地域のスポーツ活動の担い手として期待が寄せられている一方、高齢化が進行し、実施できる種目が減少しつつある。今後は若年層の参加と参加者の指導者資格取得を促し、ニーズに応えられる体制づくりをサポートする必要がある。	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	スポーツを楽しむ機会の充実	施策コード	51303	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	スポーツの振興			関係課		
	(3) 節の目的	誰もが、いつでも、生涯をとおしてスポーツを楽しめる環境をつくり、スポーツを通じた健康づくりや交流をはかります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	気軽にスポーツを楽しめるよう、スポーツ関係団体などとの連携によるスポーツ教室や、市民体育大会等のスポーツイベントを開催して、参加機会の充実を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
どういう状態に		気軽にスポーツを楽しむことができる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	多くの市民が気軽にスポーツを楽しめ、参加できるスポーツイベントとして、スポーツ団体との連携で、市民体育大会、県民体育大会、チャレンジスポーツフェスタ、新春マラソン大会、ファミリースポーツテスト、ボールゲームフェスタやチームラン・キッズランうなぎちカップなどのスポーツイベントの開催を通して市民の健康づくりや交流の機会を創る。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① スポーツイベントの参加者数	市民体育大会・チャレンジスポーツフェスタ・新春マラソン大会・手賀沼エコマラソン等のイベント参加者数を把握することにより、市民が生涯をとおしてスポーツを楽しんでいるか把握できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績値		1,165	1,078		
		達成率		10.59	9.80		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	7,971	6,310	7,620	7,522	
		人件費	4,524	4,717	4,628	4,628	
		合計	12,495	11,027	12,248	12,150	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	7,971	4,519			
		人件費	4,524	4,717			
合計		12,495	9,236				

施策を構成する事務事業

事務事業名	スポーツ振興事業				課名	文化・スポーツ課	
指標	交付人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	37	目標値	150	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	79	達成率	52.67			予算額	6,310
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	4,519

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、スポーツ振興を図るという施策の実現に効果的な事業となっているため、引き続き推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
気軽に参加できるスポーツイベントの開催をとおり、多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる機会を充実させることは、節の目的に合致しており有効な手段である。	多くの市民が気軽にスポーツが楽しめるスポーツイベントを開催していくことは、節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
市民体育大会・チャレンジスポーツフェスタ・新春マラソン大会・手賀沼エコマラソン等は市民が気軽に参加できる身近なスポーツイベントであり、継続して開催すべきものである。	スポーツを楽しむことは、体力の向上やストレスの発散、生活習慣病の予防などに効果があることから、今後も多くの市民が気軽にスポーツが楽しめるスポーツイベントを開催していくことは、節の目的に合致しており有効な施策である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
参加者の増加につなげるために、様々な手法でより一層の宣伝を行い、大会運営の手法を検討していく。	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	心身共に健康な児童・生徒の育成	施策コード	52101	施策主管部課	教育総務部 学校教育課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	学校教育・幼児教育の充実			関係課	秘書広報課 指導課	
	(3) 節の目的	子どもの個性や能力を生かし、創造性や自主性、社会性をはぐむと共に、子どもの心と体の発達に合わせた、きめ細かい教育をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	思いやりのある豊かな心を育むため、人権・人間尊重の精神や社会性を育む規範意識の醸成など、人間形成のための教育を推進します。また、健康管理の大切さを意識した健やかな生活を送ることができるよう、食育や健康教育の充実に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	児童・生徒				
どういう状態に		心身共に健やかな成長を遂げている					
(6) 施策実施上の課題と対応	・食に関する関心を深めるには、安心・安全な学校給食の提供と給食を教材とした食育の推進を図ることが重要である。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 学校生活を意欲的に送っている児童・生徒の割合	いじめや非行のない環境と学校生活満足度は関連が認められるため。					
	② 食に関する関心や理解度が高まった子どもの割合	食への関心や理解が高まることで、正しい食生活を営むことにつながり、ひいては心と体の健康を育むことができるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	0.65	0.65	0.65	0.65
		実績値		0.6	0.58		
		達成率		92.31	89.23		
	②	目標値	%	90	90	90	90
		実績値		88.3	86		
		達成率		98.11	95.56		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	140,517	134,362	146,768	146,301
		人件費	142,332	120,862	145,070	10,235
		合計	282,849	255,224	291,838	156,536
	(10) 実績値 (千円)	事業費	140,517	128,320		
		人件費	142,332	120,862		
合計		282,849	249,182			

施策を構成する事務事業

事務事業名	総合教育会議運営事務				課名	秘書広報課		
指標	法第1条の4に掲げる協議事項、協議・調整事項の合意率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	890

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

我孫子市教育大綱に基づいて教育行政を推進するためには、市長と教育委員会との連携強化や情報共有が必要不可欠であり、その役割を担う総合教育会議を引き続き推進していく。

事務事業名	小中学校配置職員管理事業				課名	学校教育課		
指標	会計年度任用職員配置定数(用務員17名、事務補佐員6名)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	23	目標値	23	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	23	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	22,223	8,010

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

会計年度任用職員(技能労務職)は、学校の実情を踏まえ様々な業務を行っており、円滑に学校を運営していく上で重要な役割を担っている。

事務事業名	児童・生徒・教職員健康診断事業				課名	学校教育課		
指標	実施者数/児童・生徒・教職員健診対象者				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	97	目標値	99	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	97	達成率	97.98					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	32,264	5,340

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法令に規定があり、健康保持に必要な事業であるため現状どおり推進する。

事務事業名	我孫子市学校保健会運営				課名	学校教育課		
指標	生活習慣病予防検診実施者/対象者				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	46.4	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	112	達成率	140.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,822	7,120

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

学校における保健事業に貢献していることから現状どおり推進する。

事務事業名	日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業				課名	学校教育課		
指標	日本スポーツ振興センター災害共済申請事務件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	595	目標値	800	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	678	達成率	117.99					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	9,607	2,670

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

児童生徒が安心して学校生活を送るため、事業の優先度は高い。

事務事業名	学校給食備品管理事業				課名	学校教育課		
指標	計画表に基づく、備品の設置率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	52	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	28	達成率	35.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	20,946	1,780

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

予定どおり事業を進め、安心安全で質の高い給食を提供できた。

事務事業名	学校給食管理運営事業				課名	学校教育課		
指標	安心・安全でおいしい学校給食の実施率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	27,162	83,660

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

今後も継続していきたい。

事務事業名	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業				課名	学校教育課		
指標	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童生徒				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	87.6	目標値	90	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	87.6	達成率	97.33					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	6,688	1,780

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

今後も継続して実施していく。

施策を構成する事務事業

事務事業名	学校給食施設設備整備事業				課名	学校教育課		
指標	修繕・工事の実施率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	6,320	1,335
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	6,320	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

学校給食の安定的な運営のため今後も引き続き実施していく。

事務事業名	小中学校体育・文化活動事業				課名	指導課		
指標	市内の体育活動や小中体育連盟等の活動費助成割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	6,280	5,785
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	5,153	5,785

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を行い、事業の実施について工夫していく。

事務事業名	幼保小連携				課名	指導課		
指標	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム」を基にテーマを設定し、				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	5	単位	地区	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5	達成率	100.00			予算額	50	2,492
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	50	2,492

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

新しい生活様式が求められる中、それぞれの園、学校において、直接的な交流が難しい場合でも、市が主導して共通理解を図り、これまでの取り組みを持続できるよう支援することが重要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
我孫子産米・我孫子産野菜を学校給食で使用する地産地消、その給食を教材とした地域に根差した食育の推進、児童生徒の発達段階に応じた健康教育の観点から、市民ニーズや社会状況等に適した施策である。	我孫子産米等を活用した学校給食により食への関心を高め、心と身体の健康を育むことができる施策であり、児童生徒にとって重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
心身ともに健康な子どもの育成は、「生きる力」を育む上で欠かすことのできないものであり、児童生徒の健康教育を推進する事業や、給食を教材とした地域に根ざした食育の推進は大変有効であると評価する。	施策の実現をめざし取り組んだ児童・生徒・教職員健康診断事業給学校給食管理運営事業、小中学校体育・文化活動事業などの各種事業は、児童生徒が安心して学校生活を送り、児童生徒の心身のバランスの良い発達に寄与している。さらに、我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食への導入を通して食育を推進し、郷土の農業を知ることや、生産者に関心を持ち感謝する気持ちを育むことも効果的であるため、施策を引き継ぎ、魅力ある学校づくりを推進していく。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	確かな学力の育成	施策コード	52102	施策主管部課	教育総務部 指導課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	学校教育・幼児教育の充実			関係課	教育研究所 学校教育課
	(3) 節の目的	子どもの個性や能力を生かし、創造性や自主性、社会性をはぐくむと共に、子どもの心と体の発達に合わせた、きめ細かい教育をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	子どもの確かな学力を育成するため、少人数指導などの個に応じたきめ細かな指導を実施し、基礎的・基本的な知識や思考力、判断力、表現力の習得を支援するとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を育みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	児童・生徒			
どういう状態に		主体的・協働的に学習に取り組むとともに、基礎的・基本的な知識や思考力・判断力・表現力を身につけている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等の派遣を充実させる ・教職員研修の充実を図り、教職員の指導力の向上を図る ・校内研修を支えるために、要請訪問を充実させる 					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 授業アンケートによる授業満足度	児童・生徒が満足できるような、分かりやすい授業を行っているかが分かるため。					
	② 校内外の教職員研修会の実施回数	研修会を実施することで、授業改善が図られ、児童生徒の学力向上につながるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	90	90	90	90
		実績値		83	90		
		達成率		92.22	100.00		
	②	目標値	p	72	72	72	72
		実績値		138	187		
		達成率		191.67	259.72		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	1,249,758	629,725	209,295	209,369
	人件費	34,539	36,045	36,134	34,799
	合計	1,284,297	665,770	245,429	244,168
(10) 実績値 (千円)	事業費	1,249,758	592,275		
	人件費	34,539	36,045		
	合計	1,284,297	628,320		

施策を構成する事務事業

事務事業名	スクールサポート教員の配置事業				課名	学校教育課		
指標	スクールサポート教員の配置人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	7	目標値	7	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	7	達成率	100.00			予算額	9,384	1,335
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	7,350	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

少人数での指導や、きめ細やかな指導など教職員に求められる役割が多くなっている中、県の費用負担のみでは不足が生じるため、市負担でスクールサポート教員の配置を行う必要があるため。

事務事業名	学力向上推進事業				課名	指導課		
指標	標準学力調査結果（全国平均を1とした時の我孫子市の指数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0.99	目標値	1.01	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1.01	達成率	100.00			予算額	26,885	8,277
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	24,062	8,277

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

児童生徒の学力向上には授業改善が必須であり、そのためには児童生徒の実態を経年で把握することがとても有効である。

事務事業名	教職員資質向上推進事業				課名	指導課		
指標	教育委員会主催研修会受講者の満足度（アンケート調査）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	98	目標値	90	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	98	達成率	108.89			予算額	3,203	10,947
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,382	10,947

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

新学習指導要領の実施、若年層の教職員の増加、一人一台端末の配置等、教職員の研修を充実させていくことは、今後より一層重要になっていく。

事務事業名	小中学校コンピュータ教育の推進				課名	指導課		
指標	令和元年度学校基本調査を基準とした教育用タブレット型端末1台あり				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	33.47	目標値	0.97	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0.97	達成率	100.00			予算額	524,028	3,026
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	500,414	3,026

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ICTを環境を整備することで、児童生徒の学習を深めることができる。また、不登校児童生徒への支援の手立てとして活用することも想定される。

事務事業名	学級経営の支援				課名	指導課		
指標	Q-U検査（WEBQUを含む）の結果や今後の学級経営について複数で				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,685	3,204
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	3,542	3,204

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

変化の激しい時代において、児童生徒及び学級の状態を、教職員が客観的な数値によって理解することは、児童生徒の学校生活を支える上で必要である。

事務事業名	学校図書館活用の推進				課名	指導課		
指標	教育課程内で、授業者が学校図書館や市民図書館の図書を活用したり				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	15	目標値	12	単位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	15	達成率	125.00			予算額	40,818	4,094
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	34,807	4,094

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業名	小中学校教師用教科書及び指導書の配付				課名	教育研究所		
指標	必要数に対する配布数の割合				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	21,722	4,005
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	19,718	4,005

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業名	教職員研究論文集の発行				課名	教育研究所		
指標	論文内容の充実度				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	80	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	80	達成率	80.00			予算額	0	1,157
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,157

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事業の在り方について、検討する必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>学力向上は、指導課における最重要施策として位置付けている。教職員の資質能力向上と学級支援・児童生徒支援（ALT、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員等）は、市の重要な事業である。</p> <p>また、GIGAスクール構想によるICT環境整備により、学習活動の充実が図られ、主体的・対話的な深い学びの授業の視点からの授業改善により、「わかる授業」の展開が期待できる。さらに1人1台端末の配置により、学びが個別最適化され、学力の向上が図られると考える。</p>	<p>確かな学力の育成は、児童生徒に「生きる力」を育むうえで重要な施策である。教職員の働き方改革が進むことで、今まで以上に子ども達に寄り添う時間が増加し、教育活動の質の向上をもたらすと考えている。</p> <p>また、GIGAスクール構想によるICT環境整備により、授業改善が図られ、学力の向上が期待できる。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>学力向上に向けて、教職員の資質向上を目指している。学級や児童生徒支援をするために、ALT等の配置・研修会の実施・要請訪問等は重要な事業なので、積極的に実施している。「小中学校コンピュータ教育の推進事業」を進めていくことで、校務がより効率化され、教職員が児童生徒と向き合う時間が増え、今まで以上にきめ細やかな指導ができ、教育活動の質の向上にも繋がる。全国学力・学習状況調査や標準学力検査の分析と活用方法について研修会を実施し、授業改善を目指した。また、ICT機器を効果的に活用した授業や、図書館を活用した授業を展開することで「主体的・対話的で深い学び」の実現と、学力向上を目指した。</p>	<p>確かな学力の育成は、生きる力の醸成における重要な施策であり、教職員の校務が効率化されることで、今まで以上に子どもに寄り添った指導が行えるようになり、教育活動の質の向上をもたらすこととなる。またICT機器や学校図書館を有効に活用することで、主体的・対話的で深い学びが実現でき、学力向上につながる。本施策は、基礎的・基本的な知識や思考力、判断力、表現力の習得を支援するとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を育むことに重要なことから第四次総合計画の前期基本計画の基本施策「魅力ある学校づくり」の中で取り組みを推進していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	小中一貫教育の推進	施策コード	52103	施策主管部課	教育総務部 指導課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	学校教育・幼児教育の充実			関係課	
	(3) 節の目的	子どもの個性や能力を生かし、創造性や自主性、社会性をはぐくむと共に、子どもの心と体の発達に合わせた、きめ細かい教育をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	子どもたちの学力向上や中1ギャップの解消、豊かな人間性・社会性の育成を図るため、9年間の義務教育を通じた系統的・継続的な指導を行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	児童・生徒			
どういう状態に		確かな学力を身につけるとともに、豊かな人間性・社会性を育てている				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の円滑な接続を重視し、学力向上と豊かな心の育成及び中1ギャップの解消を目指す、9年間を見通した小中一貫教育の推進 ・各中学校区で作成したランドデザインを基に、学校と保護者、そして、地域がお互いに協働し合いながら、それぞれの中学校区の特色を生かした教育を展開する ・小中一貫教育カリキュラムを支えるICT教育の充実を図る 					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 小中一貫合同研修会を実施した中区の数	小中交流を実施することで中1ギャップを解消し、小中学校をなめらかに接続するため					
	② 小中一貫共通カリキュラムの実施率	小中学校で共通したカリキュラムを活用し、分離型の小中学校の教育活動を一貫して行うため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	回	6	6	6	6
		実績値		1	6		
		達成率		16.67	100.00		
	②	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100	100		
		達成率		100.00	100.00		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	10,450	10,111	10,125	10,125
	人件費	6,699	6,497	6,586	6,586
	合計	17,149	16,608	16,711	16,711
(10) 実績値 (千円)	事業費	10,450	8,683		
	人件費	6,699	6,497		
	合計	17,149	15,180		

施策を構成する事務事業

事務事業名	小中一貫教育の推進				課名	指導課	
指標	Abi☆小中一貫カリキュラム授業の実施				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	30	目標値	24	単位	回	事業費(千円)	
実績値	30	達成率	125.00			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	
						10,111	6,497
						8,683	6,497

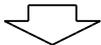
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>子どもの創造性と自主性を育む教育の充実を目指し、小中一貫教育を推進していく。各中学校区において、義務教育9年間で目指す「15歳の姿」を共有し、グランドデザインを作成することで、学校・保護者・地域が協働して、それぞれの中学校区の特徴を生かした教育を展開できるようになる。このことにより、子どもたちに「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を育むとともに、ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子どもの育成を目指していく。</p>	<p>小中一貫教育を通じた義務教育9年間は、社会に貢献できる自立した大人になるための基盤であり、生きる力の育成を図ることは、本市の重要な施策であると考えている。今後も、学校・保護者・地域が連携を図り、我孫子ならではの小中一貫教育となるように努める。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>Abi☆小中一貫教育カリキュラムの改訂を行った。各中学校区のグランドデザインにそって、系統的・継続的に小中一貫教育が実施された。それぞれの中学校区の特徴を活かした教育を推進した。小中一貫教育を支えるICT教育の充実に向けては、「Abi-ICTカリキュラム」に沿って授業実践をし、授業での利活用を図った。また、我孫子市の教育を象徴する2つのカリキュラム「Abi-キャリア」「Abi-ふるさと」の共有授業実践を行った。</p>	<p>小中一貫教育を通じて義務教育9年間に繋ぎ、社会に貢献できる自立した大人になるための基盤である、たくましく生きる力の育成を図る教育を実践している。各中学校区においてグランドデザインに描かれた子ども像の育成に向けて、特色ある教育を実践した。引続き、施設分離型の小中一貫教育の推進を図るとともに施設一体型の小中一貫教育についても学校のあり方を含め検討していく。なお、本施策は、第四次総合計画の前期基本計画の基本施策「魅力ある学校づくり」の中で取り組みを推進していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	安心して快適に学べる教育・学習環境の充実	施策コード	52104	施策主管部課	教育総務部 総務課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	学校教育・幼児教育の充実			関係課	学校教育課
	(3) 節の目的	子どもの個性や能力を生かし、創造性や自主性、社会性をはぐむと共に、子どもの心と体の発達に合わせた、きめ細かい教育をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、校舎等の老朽対策やICT機器・備品の更新を実施するなど、施設や設備、教育機器などの整備・充実に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	児童、生徒			
どういう状態に		教育・学習環境が充実し、安心して快適に学ぶことができる				
(6) 施策実施上の課題と対応	平成31年度に策定した学校施設個別施設計画に基づき、長寿命化改修等を計画的に実施していく。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 学校施設長寿命化改修等 検討・着手・完了校数	平成31年度に策定した学校施設個別施設計画に基づき、長寿命化改修等を計画的に実施し安全で快適な学習環境を整備する。					
	② 学校に配置したタブレット 端末の台数	ICT機器を活用したわかりやすい授業や、学ぶ環境がどのくらい整っているか分かるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	校	1	1	1	2
		実績値		1	1		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値	台	9,374	9,374	9,374	9,374
		実績値		9,654	9,374		
		達成率		102.99	100.00		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	740,741	963,900	891,511	1,128,085
	人件費	58,725	59,630	61,410	29,370
	合計	799,466	1,023,530	952,921	1,157,455
(10) 実績値 (千円)	事業費	740,741	879,384		
	人件費	58,725	59,630		
	合計	799,466	939,014		

施策を構成する事務事業

事務事業名	小中学校施設 の維持管理				課 名	総務課		
指 標	改善工事・修繕実施校数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	19	目標値	19	単 位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	19	達成率	100.00			予算額	345,643	15,130
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	338,614	15,130

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	学校施設の老朽化対策				課 名	総務課		
指 標	改修設計委託完了校数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	1	目標値	1	単 位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	3,309	3,115
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	3,309	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進する。

事務事業名	小中学校屋内運動場空調設備整備事業				課 名	総務課		
指 標	空調設備整備完了校数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	6	目標値	6	単 位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	6	達成率	100.00			予算額	169,381	890
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	168,181	890

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進する。

事務事業名	学校の環境衛生事業				課 名	学校教育課		
指 標	基準値内校/全19校				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	84	目標値	100	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	11,839	4,450
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	11,289	4,450

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令に規定があり、校内環境維持のために必要な事業であることから、現状どおり推進する。

事務事業名	小中学校管理運営事業				課 名	学校教育課		
指 標	学校への分配予算の平均執行率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	90	目標値	95	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	105.26			予算額	337,319	23,140
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	285,505	23,140

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

小中学校の予算で、多額を占める消耗品・光熱水費を集中管理することで適正な予算執行を図ることができた。
学校保健特別対策事業費補助金を活用して、各校、コロナ対策に使用する消耗品を購入した。

事務事業名	小学校の安全管理員の配置				課 名	学校教育課		
指 標	未事故であった小学校				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	13	目標値	13	単 位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	13	達成率	100.00			予算額	19,298	1,335
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	18,149	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

学校の安全確保に寄与する事業であるが、事業の効率性を引き続き見直す。

事務事業名	小中学校備品管理事業				課 名	学校教育課		
指 標	更新計画に基づく執行率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	9	目標値	15	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	15	達成率	100.00			予算額	77,076	2,670
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	54,337	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

小中学校の備品を計画的に購入することで学習環境の維持管理を行った。
学校保健特別対策事業費補助金を活用して、各校、コロナ対策感における備品を購入した。

事務事業名	学級編制及び学籍管理（法令に基づく適切な事務）事業				課 名	学校教育課		
指 標	適切な事務の遂行。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	35	8,900
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	8,900

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令に従い、今後も市において業務を執行する。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>安全で安心して快適に学べる教育・学習環境を整備するため、老朽化した学校施設の教育環境に合わせた施設改修は必要な施策であると考えます。</p> <p>令和3年度に予定している中学校屋内運動場への空調設備の整備は、子ども達が安全で安心して快適に学べる学習環境を確保するため重要な施策であると考えます。</p> <p>また、ICT機器や備品の更新を行い、児童生徒が快適に学べる学習環境を整備していくことは、重要な施策と考えます。</p>	<p>児童生徒が安全で、安心して快適に学ぶことができるための学校施設の改修や、子ども達の発達段階に応じた学習環境を整えていくことは重要な事業であり、学びやすい環境をつくるために必要な施策と考えます。</p> <p>平成31年度に策定した学校施設個別施設計画に基づき、子ども達が安心して快適に学ぶ環境の整備に一層努めていく。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>校舎等の老朽化対策、教育機器及び備品等の更新・整備を実施することができました。</p> <p>また、我孫子市学校施設個別施設計画に基づき、学校施設の整備・改修を実施した。</p> <p>この他、ICT機器や教育機器を充実させることで、安心して快適に学べる教育環境を整備することができました。</p>	<p>児童生徒が安全で、安心して快適に学ぶことができるための学校施設の改修や、子ども達の発達段階に応じた学習環境を整えていくことは重要な事業であり、学びやすい環境をつくるため、安心して快適に学べる教育・学習環境の充実を図った。引き続き、魅力ある学校づくりを推進していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地域全体で学校教育を支えるしくみづくり	施策コード	52201	施策主管部課	教育総務部 指導課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域に根ざした教育の充実			関係課	学校教育課	
	(3) 節の目的	子どもが地域に愛着と誇りを持てるよう、地域と交流し、地域の人に学ぶしくみをつくります。また、我孫子の自然や文化などを活用した我孫子らしい教育をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	学校教育を地域全体で支えるため、PTAと協働し、市内の全小中学校に設置されている学校支援地域本部を中心に、自然や歴史、文化、人材などの地域資源を学習や部活動に活用していきます。また、学校評議員制度による開かれた学校づくりに取り組み、学校と地域の交流の拡大を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	学校関係者（児童・生徒）と地域の人々				
どういう状態に		お互いの交流が活発になり、地域全体で学校教育を支えている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に在住している潜在的な学校支援ボランティアを地域行事や学校行事等を通じて発掘する ・地域在住者によるボランティアに加えて、児童生徒に年齢が近い高校生、大学生による学習ボランティアへの参加を積極的に呼び掛けることにより、学習支援環境の整備に努める ・職場体験の充実を目指して、その受入事業所数の拡大を目的に、我孫子市キャリア教育推進協議会を活用する 						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 学校への支援ボランティアに参加した延べ人数	地域ぐるみで子育てに関わっているかが分かるため。					
	② 職場体験学習に協力した事業所などの延べ数	生徒の職場体験学習の内容が充実しているかが分かるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	45,000	45,000	45,000	45,000
		実績値		29,332	26,362		
		達成率		65.18	58.58		
	②	目標値	件	470	470	470	470
		実績値		0	0		
		達成率		0.00	0.00		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	15,320	16,196	16,157	16,325
		人件費	3,219	3,738	3,738	2,848
		合計	18,539	19,934	19,895	19,173
	(10) 実績値 (千円)	事業費	15,320	13,900		
		人件費	3,219	3,738		
合計		18,539	17,638			

施策を構成する事務事業

事務事業名		学校評議員制度の充実				課名	学校教育課	
指標	学校評議員による学校評価及び改善への学校の取組み状況。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	80	目標値	90		単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	80	達成率	88.89				予算額	504
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	283	890
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
学校評議員制度が定着してきており、学校と地域の連携が進んでいるため。								
事務事業名		キャリア教育の推進				課名	指導課	
指標	「Abi-キャリア(「我孫子市キャリア・パスポート」を含む)」を自				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	19	目標値	19		単位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	19	達成率	100.00				予算額	1,291
事務事業の施策への貢献度		○高い ●普通 ○低い		評価	結合	実績値	1,065	1,246
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
「我孫子市キャリア・パスポート」を市内全校が活用したことで、共同体としての学校という場で児童生徒自身がどう生きるかということを考える、という広い意味でのキャリア教育の実践がなされた。								
事務事業名		学校支援事業の充実				課名	指導課	
指標	学校への支援ボランティアに参加したのべ人数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	26,362	目標値	45,000		単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	26,362	達成率	58.58				予算額	14,401
事務事業の施策への貢献度		○高い ●普通 ○低い		評価	拡充	実績値	12,552	1,602
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
令和4年度から全小中学校が学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなる。学校が抱える様々な諸課題とともに、地域創生のためにかかせない取り組みであり、国も県も力を入れている方策であることから、本事業もさらに推進していくことが必要と								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>子どもたちが「ふるさと我孫子」を誇りに思えるように、学校・地域・行政が連携して「すべては子どもたちのために」の合言葉のもとに活動していくことが重要である。思考力・判断力・表現力のみならず、現在求められている主体性・多様性・協調性を養うためにも、本施策の役割は大きい。</p> <p>学校支援地域本部事業としての地域ボランティア、学生ボランティアによる学校支援を充実させていくことで、更なる効果的な教育が展開できる。</p>	<p>子ども達に充実した価値ある教育活動を実施するには、地域の協力は不可欠であり、その中核となる活動が学校支援地域本部事業である。今後も、学校教育を地域全体で支えていただけるように一層の連携に努めていく。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>子どもたちに充実した価値ある教育活動を実施するには、地域の協力は不可欠である。各中学校区において、学校支援コーディネーターを中心に、地域ボランティアの拡充に努めた。また、市内にある高等学校や大学と連携して、学生ボランティアによる学校教育活動の支援の充実を図った。</p>	<p>子どもたちが「ふるさと我孫子」を誇りに思えるよう、地域・学校・行政が連携して、学校支援を行っている。学校支援地域本部事業を中核とし、学校支援コーディネーターと学校担当者が連携して、地域ボランティアや学生ボランティアによる学校支援の充実に取り組んでいる。次年度から学校評議員制度に代わるコミュニティスクールを各学校に設置していくために準備を行った。なお、本施策は第四次総合計画の前期基本計画の基本施策「魅力ある学校づくり」の中で取り組みを推進していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地域に密着した学習の場の提供	施策コード	52202	施策主管部課	教育総務部 指導課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域に根ざした教育の充実			関係課	教育研究所
	(3) 節の目的	子どもが地域に愛着と誇りを持てるよう、地域と交流し、地域の人に学ぶしくみをつくります。また、我孫子の自然や文化などを活用した我孫子らしい教育をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	郷土について学ぶ機会を充実するため、地域学習や環境学習等を実施するとともに、地域に関する資料を収集し学習に活用するふるさとカリキュラムを推進します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	児童・生徒			
どういう状態に		地域に対する愛着を深めるとともに、郷土に関する知識を身につけている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の教育課程の中に位置付けて、計画的に実施していくこと ・「ふるさと我孫子」への愛着を教職員および児童生徒が感じられるように学習を進める 					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 地域について学ぶ授業の実施率	子どもたちが地域と郷土に愛着と誇りを持ち、心豊かに育つための機会を提供したかが分かるため。					
	② 高校生・大学生の学習支援ボランティアの延べ参	高校生大学生の学習支援ボランティアを活用したか分かるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100	100		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値	人	500	500	500	500
		実績値		236	297		
		達成率		47.20	59.40		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	7,549	5,508	1,374	1,424
	人件費	6,177	7,476	5,607	7,476
	合計	13,726	12,984	6,981	8,900
(10) 実績値 (千円)	事業費	7,549	5,436		
	人件費	6,177	7,476		
	合計	13,726	12,912		

施策を構成する事務事業

事務事業名	子ども議会				課名	指導課		
指標	子ども議員の意見の数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	38	目標値	38	単位	数	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	38	達成率	100.00			予算額	50	3,827
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	5	3,827

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地域に根ざした教育の充実を目指して、地域全体で学校教育を支えるしくみづくりの一助として引き続き子ども議会を開催する。

事務事業名	ふるさとカリキュラムの実施				課名	指導課		
指標	補助教材「ふるさと我孫子の先人たち」を活用した授業を実施した学				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,374	2,314
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,347	2,314

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

小中一貫カリキュラムの2本柱の一つとして、本事業を充実させていく必要がある。

事務事業名	副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」)の改訂				課名	教育研究所		
指標	内容を検討し指導計画及び評価問題を改訂した割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	80	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	4,084	1,335
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	4,084	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

社会科副読本は小学校中学年が地域を学ぶ重要な教材となっている。今後も学習指導要領の改訂に合わせ見直しを行っていく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>地域の自然の豊かさや、我孫子市の発展に貢献した人物について学ぶことで、子ども達が「ふるさと我孫子」について誇りと愛着を感じる。「ふるさと我孫子」の学習を通して、新たな発見と驚き、そして感動を味わいながら学んでいけるように、学習環境の整備を心がけていくことが重要である。</p> <p>また、地域の人々との交流を通して学びを深めていくことで、郷土愛が生まれ、我孫子市の将来を担う子ども達自身の市民意識を育むことができる。</p>	<p>我孫子の自然や文化に親しみ、我孫子についての知識を身につけ、「ふるさと我孫子」への愛情を育てていくための大切な施策である。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>子ども達が「ふるさと我孫子」について、愛着と誇りを持つために、地域の自然の豊かさや、郷土の誇りである歴史上の人物、我孫子市の発展に貢献した人物について学んでいる。また、地域学習において地域の人々と交流したり、キャリア教育で地域の事業所で職場体験をしたり、話を聞いたりして学びを深めている。</p>	<p>我孫子の自然や文化に親しみ、我孫子についての知識を身につけ、「ふるさと我孫子」に対する愛情を育てていくための大切な施策であるた第四次総合計画の前期基本計画の基本施策「魅力ある学校づくり」の中で取り組みを推進していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	教育相談・支援体制の充実	施策コード	52301	施策主管部課	教育総務部 教育研究所	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	子どもの成長・自立への支援			関係課	学校教育課	
	(3) 節の目的	学校、家庭、地域が連携し、地域の中で子どもが心豊かで健全に育つための環境をつくります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	子どもの心と体の発達に応じた教育を推進するため、療育・教育システムの構築や特別支援教育の充実、学校支援体制の強化に努めるなど、教育相談・支援体制の充実を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	子ども				
どういう状態に		心と体の発達に応じた教育を受けることができる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する子どもたちの実態や教育ニーズに対して、とくに学習面、生活面できめ細やかな配慮や対応をしていく必要がある。 ・特別支援教育をさらに充実させるために、保護者の理解と協力を得て個別の教育支援計画を作成し、計画に基づいてきめ細かい支援を行う必要がある。 ・長欠児童生徒対策として、不登校予防や解消に向けた支援体制と関係機関との連携強化を図る必要がある。適応指導教室である「ヤング手賀沼」の機能拡充も長欠対策事業推進のため必要である。 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 個別の指導計画の作成率	個に応じた適切な指導が行われるには、個別の指導計画作成率を向上させることが必要のため。					
	② 不登校の出現率（小中学校の合計）	児童の悩みの解決を支援して学校生活を過ごせるよう不登校の児童の割合を下げる必要があるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		99.1	95		
		達成率		99.10	95.00		
	②	目標値	%	1.5	1.5	1.5	1.5
		実績値		2	3.24		
		達成率		75.00	46.30		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	265,820	261,038	261,694	261,694	
		人件費	49,329	52,688	44,233	44,233	
		合 計	315,149	313,726	305,927	305,927	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	265,820	226,219			
		人件費	49,329	52,688			
合 計		315,149	278,907				

施策を構成する事務事業

事務事業名	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業				課名	学校教育課		
指標	学校長の請求に基づき支給。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	128,987	6,230
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	111,689	6,230

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

学校教育法で定められており、現状どおり推進する。

事務事業名	教育支援委員会の運営				課名	教育研究所		
指標	教育支援委員会で最適な就学を決定するための、就学児童生徒審議件				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	132	目標値	140	単位	件数	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	160	達成率	114.29			予算額	21	3,293
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	21	3,293

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

支援を要する児童生徒は年々増加傾向にあるため、保護者へ適切な就学先を案内するために毎年実施する必要がある。

事務事業名	学級支援員派遣事業				課名	教育研究所		
指標	対象児童生徒への配置率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	89,321	1,780
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	77,944	1,780

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

特別な支援を要する児童は年々増加している。それに伴い学級支援員の重要性は増してきている。児童生徒をきめ細かく支援していくためにも学級支援員の待遇を改善する必要がある。

事務事業名	教育研究所巡回事業				課名	教育研究所		
指標	「個別の教育支援計画・個別の指導計画」作成率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	95	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	99	達成率	99.00			予算額	1,863	4,895
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,604	4,895

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

各学校の特別支援学級の運営方法の確認をする良い機会になっている。

事務事業名	特別支援教育推進事業				課名	教育研究所		
指標	校内委員会開催数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	201	目標値	225	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	215	達成率	95.56			予算額	1,599	2,492
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,234	2,492

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

特別な支援を要する児童生徒は特別支援学級だけではなく、通常学級にも多く在籍している。教職員全員が特別支援教育に対する理解を深める必要がある。

事務事業名	教育研究所アドバイザー事業				課名	教育研究所		
指標	アドバイザーの支援が役に立った率・満足度（全校にアンケートを実施）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	80	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	6,139	8,900
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	5,179	8,900

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

学校からアドバイザーを要請された際、その対象児童・生徒の現状や学校の支援方針をより詳細に把握し、アドバイザーが介入後、その助言や提案した内容がその後の対象児童・生徒の学校生活にどのように活かされているかを共有できるような方向性を目指す。

事務事業名	就学相談事業				課名	教育研究所		
指標	就学相談で助言した就学先と保護者が選択した就学先の一致率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	82.6	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	380	達成率	475.00			予算額	3,729	7,120
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	3,208	7,120

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

対象者数の増加および新型コロナ感染防止対策の観点から、事業内容の精選と手法の工夫を行っていく。

事務事業名	長欠対策事業				課名	教育研究所		
指標	年間対応件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	6,000	目標値	6,500	単位	件数	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	213	達成率	3051.64			予算額	11,165	3,115
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	9,652	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

心の教室相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の連携を強化すること。各校の管理職や長欠担当者と密に連絡を取り合うことが重要である。

施策を構成する事務事業

事務事業名	教育相談・発達相談事業				課名	教育研究所		
指標	継続ケースの保護者にアンケートを実施し、相談の満足度をはかる。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	90	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	94.4	達成率	94.40			予算額	7,733	12,193
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	6,698	12,193

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

就学以降に発達の専門知識を持つ相談員を擁し、スムーズに学校と連携を取りながら継続的に相談できる窓口は少なく、保護者の相談ニーズは高い。今後も継続していく必要がある。

事務事業名	適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営				課名	教育研究所		
指標	ヤング手賀沼に通級している児童生徒の出席率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	49.9	目標値	60	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	50	達成率	83.33			予算額	10,481	2,670
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	8,990	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

複雑化する家庭環境や対人関係のスキルの未熟さなど、多様な要因が絡み合い不登校が増えている。今後も本事業を継続していく必要があると思われる。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>発達障害等、様々な課題を抱えた児童生徒及び不登校児童生徒が急増している現状にあって一人一人のニーズに応じた教育を実践するためには、教育研究所が実施している教育相談の充実とともに、各学校において適切な対応・指導が為されるようアドバイザー事業を充実させて教職員のスキルを向上させる必要がある。また特別支援教育の視点を取り入れた学校・学級経営を推進することで、すべての児童生徒の学習意欲が高まるとともに不登校児童生徒の減少にもつながっていくと考えられる。今年度は、適応指導教室「ヤング手賀沼」の分校を開設し、さらなる支援の強化を図る。</p>	<p>市内では特別支援学級数の増加に加え、通常学級に在籍する発達障害等の課題を抱える児童生徒数も増加している。また、不登校児童生徒数も思うように減少していかない現状があり、本施策の実施の意義は重要であると考えている。</p> <p>今後も関係部局等との一層の連携を図り、子ども達のライフステージに応じた一貫した支援体制を目指していく。適応指導教室「ヤング手賀沼」は市内20校目の学校として位置づけ、一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考えていく。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>特別支援教育の推進事業については、特別支援学級だけではなく、通常学級にも多く在籍しているため、教職員全員が特別支援教育に関する理解、対応技術を身につける必要がある。</p> <p>長欠児童生徒対策事業については、不登校の児童生徒出現率は下がり、更なる学校・関係機関との連携を図り支援する必要がある。ヤング手賀沼については、我孫子地区のけやきプラザに開設をした。教育・発達相談では、相談件数が増加している。特に不登校の相談が増加した。研究所と学校・関係機関で連携し対応することが出来た。</p>	<p>施策の実現を目指し取り組んだ各事業は、児童生徒の育ちや社会的自立のためのスキルを身につける事や折れない心を形成するための重要な取り組みであるとする。また、教育研究所を核とした関係部局等との連携を図り、子どものライフステージに応じた一貫した支援体制を目指すことは、支援体制の強化に効果的である。よって、次年度も継続して事業を実施し、総合計画の基本目標に掲げる魅力ある学校づくりを推進する。なお次年度から教育研究所は「教育相談センター」に適応教室「ヤング手賀沼」は「教育支援センター」と名称を変更し、より相談しやすい施設となるよう周知を図り事業を推進していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
→	施策展開の改善点と展開方向



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	いじめ・非行防止対策の推進	施策コード	52302	施策主管部課	教育総務部 指導課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	子どもの成長・自立への支援			関係課	子ども相談課
	(3) 節の目的	学校、家庭、地域が連携し、地域の中で子どもが心豊かで健全に育つための環境をつくります。				教育研究所
						社会福祉課
	(4) 施策の目的・展開方向	子どもたちが安心して生活し、健やかに成長することができる環境をつくるため、教育委員会や学校、保護者、市民などと連携しながら、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に向けた取り組みを進めます。また、青少年の非行を防止するため、PTAや少年指導員、防犯協議会などと連携して街頭パトロールを実施するとともに、非行防止に関する情報を積極的に提供していきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
何（誰）を対象に		青少年				
どういう状態に		いじめや非行の防止に向けた取り組みが展開され、子どもたちが健全に成長している。				
(6) 施策実施上の課題と対応	・施策目的達成のため、現組織や街頭指導等の人員および情報提供等に関する環境は整備されている。また、子ども110番の家や各地域の子ども見守り隊などが拡充されてきている。今後、更に市民や関係機関との連携強化と情報交換を密に行い、子どもが安心して生活できる環境を整備していきたい。					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	① 学校生活を意欲的に送っている児童・生徒の割合		いじめや非行のない環境と学校生活満足度は関連が認められるため				
	② 子ども110番の家の設置数		少年が事件・事故に巻き込まれることを防ぐため、子ども110番の家を増やしていく				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	①	目標値	%	0.65	0.65	0.65	0.65
		実績値		0.6	0.58		
		達成率		92.31	89.23		
	②	目標値	か所	830	830	650	650
		実績値		615	611		
達成率		74.10		73.61			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	9,465	9,772	10,069	10,130
		人件費	12,267	11,659	11,481	11,481
		合 計	21,732	21,431	21,550	21,611
	(10) 実績値 (千円)	事業費	9,465	8,386		
		人件費	12,267	11,659		
合 計		21,732	20,045			

施策を構成する事務事業

事務事業名	社会を明るくする運動				課名	社会福祉課	
指標	啓発活動情報提供者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	500	目標値	500	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	500	達成率	100.00			予算額	101
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	86

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当運動を展開することにより、市民相互の助け合い精神を高め、地域力を向上することが犯罪予防の向上や非行防止に寄与していくため現状通りに推進していく。

事務事業名	少年センター業務				課名	指導課	
指標	少年指導員の街頭指導従事回数。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	750	目標値	800	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	812	達成率	101.50			予算額	4,565
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,832

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

子ども達が安心して生活し、健やかに成長する環境を整えるために本事業の果たす意義は大きい。

事務事業名	いじめ防止対策事業				課名	指導課	
指標	我孫子市いじめ防止等に関する施策の実施				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	8	目標値	8	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	8	達成率	100.00			予算額	3,125
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,777

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

いじめに苦しむ子どもをなくしていくため、いじめの未然防止、早期発見、適切な対応の取り組みを進めていくこと、関係機関や専門家など、多角的な視点からの防止対策を検討していくことは、今後も重要なことである。

事務事業名	小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン				課名	教育研究所	
指標	児童生徒の相談件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	27	目標値	50	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	28	達成率	56.00			予算額	1,981
事務事業の施策への貢献度	○高い ○普通 ●低い			評価	結合	実績値	1,691

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

いじめに特化した相談窓口の利用は低いため、いじめ以外の相談もできる窓口として枠組みを新たにすることが必要である。

事務事業名	いじめ問題対策連絡協議会等の運営				課名	子ども相談課	
指標	市いじめ問題対策連絡協議会の開催回数を年1回にする。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0

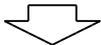
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

結合後の事務事業の中で、引き続きいじめ問題対策に関する協議を行っていく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>いじめ防止対策では、いじめアンケートやQ-U検査の継続的実施と、児童生徒の主体的な活動を推進していくことが重要である。また、情報モラル教育の継続や、その防止策についての研修会を行っていくことが不可欠である。学校だけでなく、保護者や地域と一緒に、いじめ根絶に向けた取組が必要であると考えている。</p> <p>児童生徒の健全育成のためには、少年センターを中心に学校や関係機関と連携することが、児童生徒の安全・安心な環境づくりにも大きく関わるので、引き続き連携していきたい。</p>	<p>いじめ等防止対策においては、いじめアンケートをはじめとする客観的な調査を継続して実施するとともに、その結果を基にした迅速な対応を行うことが重要である。また、普段からいじめ等が起こらないような環境づくりを教職員、児童生徒、保護者等と協力し合いながら築き上げていくことも大切であると考えている。</p> <p>児童生徒の健全育成のためには、学校、保護者、少年指導員、警察等の関係機関と連携しながら活動を推進していく必要がある。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>いじめアンケートやQ-U検査を活用し、いじめの早期発見・早期対応に努めた。また、いじめ根絶に向けて、児童生徒が主体的に取り組めるよう、学校教育全体で取り組むようにした。インターネットや1人1台端末を介してのいじめ未然防止のため、情報モラル教育を計画的に実施するよう周知している。また少年センターだよりの中で、携帯電話やスマートフォンの使い方について保護者にも啓発し、トラブルに巻き込まれないようにした。少年指導員を中心に学校や関係機関と連携し、パトロールを実施したり、不審者情報を発信したりすることで、子ども達の健全育成と安全安心な環境づくりに繋がっている。</p>	<p>いじめアンケートの実施やいじめ防止対策担当の巡回指導により、早期発見・早期対応に努めた。青少年の健全育成のため、少年指導員や学校、関係機関と連携し、活動を推進している。子ども見守り隊の登録数からも地域の子どもは地域で守る意識が高く、子どもを含め市民が安心して生活できる地域環境が整ってきている。地域の見守り意識が高くなることで、防犯だけでなく、いじめに対しても抑止効果が出てくる。指標に掲げ学校生活を意欲的に送っている児童・生徒の割合も目標値に対し高い割合を得られていることから、重要な施策であるため、第四次総合計画の基本施策「魅力ある学校づくり」で取り組みを推進していく。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	文化芸術活動への支援と環境整備	施策コード	53101	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	文化芸術の振興			関係課	生涯学習課 企画課
	(3) 節の目的	市民の自主的な文化芸術活動を推進するとともに、我孫子で新たな文化や芸術活動が生まれ、発展していくための場や機会を提供し、活動を支援します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民の自主的な文化芸術活動を促進するため、共催・後援事業の拡充を図ります。また、活動や発表の場を提供するため、既存施設の効率的利用を一層進めるとともに、さまざまな整備手法を検討しながら、文化を中心としたさまざまな交流やにぎわいを生み出す文化交流拠点施設の整備に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民や文化団体			
どういう状態に		自主的な文化芸術活動が活発に行われている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	・文化芸術に対する具体的な施策となるため、中・長期の見通しをたてる必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 文化芸術活動の発表機会の数	文化芸術の振興には、担い手への支援が必要であり、文化芸術の担い手の人々は展示会や発表会の場を求めている。その希望に応えることが、支援に繋がるものである。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	件	110	115	115	115
		実績値		28	72		
		達成率		25.45	62.61		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,777	3,248	4,325	4,325
		人件費	11,919	14,062	12,549	12,549
		合計	13,696	17,310	16,874	16,874
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,777	3,063		
		人件費	11,919	14,062		
合計		13,696	17,125			

施策を構成する事務事業

事務事業名	新たな文化交流拠点施設整備の検討				課名	企画課	
指標	「建設構想」策定の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	10	目標値	15	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	15	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	517
						実績値	517

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建設に向けた検討を引き続き行う必要がある。

事務事業名	文化事業市民スタッフの活用				課名	文化・スポーツ課	
指標	市民スタッフの稼働人数（スタッフ1名の半日勤務を1人と算定）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	37	目標値	90	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	37	達成率	41.11				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	45
						実績値	19

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

様々な経験、専門的な知識のある市民を活用できる効果的な事業である。

事務事業名	文化芸術振興活動支援				課名	文化・スポーツ課	
指標	協力・後援及び共催の取り扱いとして実施した事業の件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	72	目標値	110	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	72	達成率	65.45				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	491
						実績値	395

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

芸術団体が主催する事業について、協力または後援することにより、文化芸術の拡大、資質の向上に繋がった。

事務事業名	めるへん文庫				課名	文化・スポーツ課	
指標	応募作品数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	129	目標値	170	単位	編	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	129	達成率	75.88				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	1,595
						実績値	1,532

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

多感な年齢の子どもたちが、自らの感性、創造したものを童話作品で表現し、創造することで、作品を生み出す難しさや達成感を感じられる事業となっている。

事務事業名	新たな文化交流拠点施設整備の検討				課名	生涯学習課	
指標	「建設構想」策定の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	15	目標値	30	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	15	達成率	50.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	600
						実績値	600

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事業の優先度が高いため、今後も進めていく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
文化芸術活動への後援や活動の場の提供や市民の自主的な活動を推進することは、節の目的に合致しており有効な手段である。	市民の自主的な文化芸術活動を推進するに当たっては、活動の場の提供や事業を後援することは、節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民が行う文化芸術活動支援として後援・協力を推進することは、自主的な市民活動の拡大、新たな担い手の創出に寄与することである。また、めるへん文庫事業は、次世代を担う子どもたちの創造性を高め、新たな文化創出のきっかけづくりになる事業である。	市民の自主的な文化芸術活動を推進するに当たり、活動の場の提供や事業を後援することは、節の目的に合致しており有効な施策である。今後は、次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる機会をさらに強化する必要がある。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
めるへん文庫事業は、現在、作品募集から作品集刊行を主な事業としてきたが、創作ワークショップの開催など、子どもの創作意欲を高める事業を追加して実施していく。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	新たな文化芸術活動の創出	施策コード	53102	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	文化芸術の振興			関係課		
	(3) 節の目的	市民の自主的な文化芸術活動を推進するとともに、我孫子で新たな文化や芸術活動が生まれ、発展していくための場や機会を提供し、活動を支援します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	幅広い年代の市民が新たに文化芸術に親しめるよう、イベントや活動団体の情報を広く発信するとともに、ふれる機会や参加する機会の充実を図ります。また、さまざまな分野で我孫子の自然や風土をいかした新たな文化芸術活動が生まれるよう、個人や団体への支援に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	新たに文化芸術に親しむ市民				
		どういう状態に	新たな文化芸術活動に親しむ市民が増えるとともに、新たな文化芸術活動が創設されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	どの施策もより多くの方に参加（事業・鑑賞）してもらうことが課題である。参加（事業・鑑賞）者が少ない施策については早めに見直していく。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 文化芸術団体の数	文化芸術の発展には、様々な分野で新たな文化が生まれる事が望まれる。団体活動が活発となるには、団体数の増加が望まれる。					
	② 文化芸術団体に所属する人の数	新たに文化芸術に親しむ方々が増えるよう、触れる機会や参加する機会の充実が必要であり、団体に所属することが、参加する機会の確保に繋がるため。					
	③ 子どもや若者のためのイベントの入場者数	より多くの子どもたちに文化芸術の素晴らしさに触れるなど、子どもたちへの支援が必要であるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	団体	220	220	220	220
		実績値		172	186		
		達成率		78.18	84.55		
	②	目標値	人	4,500	4,600	4,600	4,600
		実績値		3,371	3,284		
達成率		74.91		71.39			
③	目標値	人	1,480	1,500	1,500	1,500	
	実績値		0	1,234			
	達成率		0.00	82.27			
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	709	6,093	5,919	5,919	
		人件費	12,180	11,214	10,502	10,502	
		合計	12,889	17,307	16,421	16,421	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	709	2,475			
		人件費	12,180	11,214			
		合計	12,889	13,689			

施策を構成する事務事業

事務事業名					課 名				
文化祭					文化・スポーツ課				
指 標 文化祭参加（発表）団体数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	7	目標値	30	単 位	団 体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	7	達成率	23.33			予算額	4,468	4,183	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	1,137	4,183
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
文化祭は、文化活動をしている方々にとって貴重な発表の機会となっている。マンネリ化を防ぐため実行委員会において、実施手法の工夫・見直しを検討する必要がある。									
事務事業名 子どものための舞台鑑賞事業					課 名 文化・スポーツ課				
指 標 入場者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	202	目標値	300	単 位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	202	達成率	67.33			予算額	1,021	3,649	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	882	3,649
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供することは、心豊かな成長を促すとともに、舞台鑑賞マナーを養うことのできる事業である。									
事務事業名 寄贈作品の保存と活用					課 名 文化・スポーツ課				
指 標 修復可能な寄贈作品の数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	0	目標値	800	単 位	点	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	200	達成率	25.00			予算額	521	1,780	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	427	1,780
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
市の財産である寄贈絵画を適切に保管し、修復を行う。 修復後は展示会などで活用する。									
事務事業名 市民参加型コンサート					課 名 文化・スポーツ課				
指 標 実施回数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	0	目標値	1	単 位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	0	達成率	0.00			予算額	83	1,602	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	29	1,602
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）									
幅音楽活動をする人々に演奏の機会を提供することは、文化振興のさらなる発展が期待できる。また、子育て世代を含む大人から子どもまで鑑賞できるコンサートは貴重である。									

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
文化祭を始めとした様々なイベントを開催することは、市民が新たに文化芸術に親しめる機会となり新たな文化芸術活動に繋がることから、節の目的に合致しており有効な手段である。	文化芸術団体が行う様々なイベントや団体の情報を発信することは、多くの市民が文化芸術に親しむことになり、そこから新たな文化芸術活動に繋がる機会をつくること機会となることから、節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民文化祭は市民が担い手となって日ごろの活動の成果を発表するものである。また、子どものための舞台鑑賞事業は、日ごろ触れにくい舞台鑑賞の機会を子どもたちへ提供するものであり、文化への親しみを涵養するために必要な事業である。	多くの文化団体が参加する市民文化祭は、コロナ禍により舞台での発表の場が制限されたが、感染予防を徹底して展示部門での発表は実施できた。文化芸術団体が行う様々なイベントや団体の情報を発信することは多くの市民が文化芸術に親しむことになり、そこから新たな文化芸術活動に繋がる機会をつくること機会となることから、節の目的に合致しており有効な施策である。
改善検討 ○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
会員数の減少から市民文化祭への参加を見送る団体が生じている。新たな参加団体を募り、継続していく取り組みを続けていく。	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地域文化・郷土芸能の保存と継承	施策コード	53201	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域文化の保存と継承			関係課	
	(3) 節の目的	我孫子に伝わる生活文化を大切にし、次の世代に伝えます。また、季節の行事、祭りや郷土芸能を継承し育成します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	我孫子に伝わる生活文化や貴重な郷土芸能を保存し、継承していくため、聞き取りや現地踏査などの調査・研究を行うとともに、活動のPRなど情報発信の充実、後継者育成のための支援に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民、郷土芸能団体			
どういう状態に		郷土芸能団体の活動内容が市民に広く認識されているとともに、後継者の育成が進んでいる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	発表会における観覧者の動員					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	①	郷土芸能祭に出演している郷土芸能団体（クラブ）	生活文化や郷土芸能は将来に渡り継承していく必要があり、その担い手である団体を把握しつつ、団体を支援する必要があるため。				
	②	市が主催した生活文化・郷土芸能にふれるイベント	生活文化や郷土芸能は将来に渡り継承していく必要があり、行政として、PR・情報を発信する場として、イベントを開催する必要があるため。				
	③	生活文化・郷土芸能にふれるイベントの入場者数	生活文化や郷土芸能を保存と継承するには、多くの方々に触れていただくことも大事であり、入場数を指標とすることで、PRや情報の発信度を図るため。				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	①	目標値	団体	7	7	7	7
		実績値		3	6		
		達成率		42.86	85.71		
	②	目標値	件	1	2	2	2
		実績値		1	1		
達成率		100.00		50.00			
③	目標値	人	420	450	450	450	
	実績値		0	175			
	達成率		0.00	38.89			

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	725	597	697	697
		人件費	3,132	3,293	3,204	3,204
		合計	3,857	3,890	3,901	3,901
	(10) 実績値 (千円)	事業費	725	560		
		人件費	3,132	3,293		
合計		3,857	3,853			

施策を構成する事務事業

事務事業名	郷土芸能活動の保護育成				課名	文化・スポーツ課		
指標	参加(発表)団体数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	6	目標値	7	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	6	達成率	85.71			予算額	597	3,293
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	560	3,293
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
古くから伝わる郷土芸能を実際に演じたり、鑑賞することで次世代への継承に大きく貢献するための貴重な事業である。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
我孫子に伝わる生活文化や貴重な郷土芸能を保存・継承するため、郷土芸能団体への支援・郷土芸能祭の開催は節の目的に合致しており有効な手段である。	郷土芸能祭への小中学生の参加や参加団体のPRなどの情報発信は節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
市内の郷土芸能団体は、次世代への継承を目的とした小中学校における伝統芸能クラブの活動支援などを積極的に進めており、発表の場として郷土芸能祭の開催は極めて効果的な取り組みである。	郷土芸能祭を開催し、地域文化や伝統芸能を多くの人を知ることや、伝統芸能を継承し保存していくことは、節の目的を達成するために必要な施策である。令和3年度は新型コロナの感染予防を徹底し郷土芸能祭を開催した。体験教室等を実施して郷土芸能を身近に感じていただくような工夫をし、今後も引き続き推進していく必要がある。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
郷土芸能団体は高齢化のため活動が困難となっている団体が生じている。無形文化財としての保存を働きかけるとともに、新たな担い手を募るための教室の開催、イベントのPRなどを積極的に進めていく。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	歴史的・文化的遺産の整備・活用	施策コード	53301	施策 主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	歴史的・文化的遺産の保存・活用			関係課	
	(3) 節の目的	文化財を保存し、市民に広く親しまれるように活用します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	我孫子市の歴史や文化、風土をより身近に感じ、ふれあってもらうため、指定文化財制度や登録文化財制度による文化財の保存をより強化します。また、手賀沼文化拠点整備計画に基づき、史跡などの文化財を計画的に整備してネットワーク化を進め、その活用と魅力の向上に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	史跡などの文化財			
どういう状態に		文化財の保存・整備・活用が進んでいる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会は見学者を増加する展示内容の検討が必要。 ・「旧井上家住宅の保存と活用」の活用計画をもとに、各建物の保存整備工事の実施設計を策定し、整備 工事が必要。 ・白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘を効果的運営する「我孫子の大正・昭和文化遗产」による見学者数の増加。 ・市史調査研究は資料所有者の理解と協力が必要。 ・令和2年度に作成した我孫子市文化財保存活用地域計画に基づいて適切な事業推進をはかる必要 					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市の指定文化財の数	市の指定文化財の数は、保存状況を法的に確約されているものを最も端的に表すものであるため。					
	② 文化財施設等の年間見学者数	歴史的・文化的遺産の活用事業の効果を知るためには、施設等への見学者の数は直接的に効果を図ることができるため。（杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、白樺文学館、旧井上家住宅の合計）					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	件	18	19	20	21
		実績値		18	19		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値	人	20,000	20,100	20,500	20,500
		実績値		10,036	11,671		
		達成率		50.18	58.06		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	89,818	65,710	39,538	39,538
		人件費	26,535	34,888	26,967	26,700
		合 計	116,353	100,598	66,505	66,238
	(10) 実績値 (千円)	事業費	89,818	61,387		
		人件費	26,535	34,888		
合 計		116,353	96,275			

施策を構成する事務事業

事務事業名	文化財の指定調査と保存支援				課名	文化・スポーツ課		
指標	指定件数（累計）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	18	目標値	19	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	19	達成率	100.00			予算額	3,644	1,958
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	3,585	1,958

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市の歴史を保存・活用するうえでも文化財の指定が必要である。あわせて、国の登録有形文化財への登録も進めていく。

事務事業名	杉村楚人冠邸の保存と活用				課名	文化・スポーツ課		
指標	年間入場者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1,962	目標値	4,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2,339	達成率	58.48			予算額	12,815	11,926
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	11,493	11,926

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

新型コロナウイルス感染症の影響で市内の小中学校の利用が増加した。市の歴史を体感してもらう機会を提供するうえで必要な事業と考えられる。

事務事業名	白樺文学館の運営				課名	文化・スポーツ課		
指標	年間入場者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	2,837	目標値	5,100	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2,977	達成率	58.37			予算額	30,137	11,926
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	28,321	11,926

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

白樺文学館を我孫子地区観光拠点として位置づけることで、周囲の文化財施設の来訪者増加にもつながる

事務事業名	文化財施設の管理・活用				課名	文化・スポーツ課		
指標	年間来場者数（旧村川別荘）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	3,093	目標値	4,900	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4,119	達成率	84.06			予算額	8,394	2,314
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	7,635	2,314

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市で唯一現存する別荘であること、市民と協働し運営やイベントを行っていることから、市と市民をつなぐ拠点として重要な位置づけになっている。

事務事業名	旧井上家住宅の保存と活用				課名	文化・スポーツ課		
指標	母屋引込線改修工事 進捗率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	10,685	6,052
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	10,318	6,052

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

文化財の公開に向けて修復を進めている。

事務事業名	文化財保存活用地域計画の推進				課名	文化・スポーツ課		
指標	文化財保存活用協議会の開催				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2	目標値	2	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	100.00			予算額	35	712
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	35	712

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

文化財保存活用地域計画を効率的に進めるために、協議会で議論や情報交換を行う必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
「旧井上家住宅の保存と活用」「我孫子の大正・昭和文化的遺産」の効果的な活用を図るため「我孫子市文化財保存活用地域計画」に基づいて計画的に事業を進めることは、節の目的達成に効果的な手段である。	様々な制度や計画を通して歴史的・文化的遺産の保存整備や活用を図ることは節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
「我孫子市文化財保存活用地域計画」に基づき、我孫子の歴史文化財の特性を活かした保存活用を進めることができた。	様々な制度や計画を通して歴史的・文化的遺産の保存整備や活用を図ることは節の目的に合致しており有効な施策である。
改善検討	
施策展開の改善点と展開方向	
白樺文学館・杉村楚人冠記念館・旧村川別荘の連携をより一層強化し、我孫子の歴史と文化を体感できる施設へと展開していく。また予算措置ができなかった旧井上家住宅母屋保存修理工事を着実に実施し、本格的な公開へとつなげていく。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究	施策コード	53302	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	歴史的・文化的遺産の保存・活用			関係課	
	(3) 節の目的	文化財を保存し、市民に広く親しまれるように活用します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	開発により滅失する埋蔵文化財や時代の流れにより散逸する歴史資料を後世に継承するため、発掘調査や歴史資料の調査を進め、適切に記録保存します。また、報告書や資料集を刊行して、その成果を市民に還元します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	埋蔵文化財や歴史資料			
どういう状態に		調査・研究が進み、報告書や資料集が刊行されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	発掘調査については、事前の予測ができないため、柔軟な対応が必要。歴史資料調査は所有者との調整が必要。市に移管する資料は整理を進めて目録を作成する必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市史や埋蔵文化財に関する刊行物の累計	埋蔵文化財の調査結果を記録保存する具体的な手段である刊行冊数を計ることにより、保存の進捗状況がわかるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	冊	153	158	162	166
		実績値		153	158		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	41,185	45,844	45,566	45,566
		人件費	7,134	7,209	7,298	7,298
		合計	48,319	53,053	52,864	52,864
	(10) 実績値 (千円)	事業費	41,185	25,951		
		人件費	7,134	7,209		
合計		48,319	33,160			

施策を構成する事務事業

事務事業名	不特定遺跡発掘調査				課名	文化・スポーツ課		
指標	発掘調査実施率（実施件数／発掘調査しなければならない件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	4,773	1,068
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,209	1,068

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民生活に直結する調査であるため速やかに行う必要がある。

事務事業名	民間開発発掘調査				課名	文化・スポーツ課		
指標	発掘調査実施率（実施件数／発掘調査しなければならない件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	10,955	1,246
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,792	1,246

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の住宅や事業所などを確保するため、必要な事業である。

事務事業名	考古遺物整理				課名	文化・スポーツ課		
指標	刊行冊数（累計）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	65	目標値	68	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	68	達成率	100.00			予算額	23,596	979
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	16,007	979

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き刊行していく。

事務事業名	市史調査研究				課名	文化・スポーツ課		
指標	市史関係図書の刊行数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	88	目標値	90	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	90	達成率	100.00			予算額	6,064	2,937
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	5,861	2,937

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

旧家との関係を構築し、新たに発見された資料の調査・研究を順調に進めることができた。

事務事業名	公共事業発掘調査				課名	文化・スポーツ課		
指標	発掘調査執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	456	979
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	82	979

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公共施設の建設等にかかる事業であり、市民生活に直結するため必要な事業である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
遺跡の発掘調査を実施し、発掘調査報告書を記録保存することや、市民によって伝えられてきた古文書などの資料を目録化し刊行することによって資料保存していくことは、節の目的に合致しており有効な手段である。	遺跡の発掘調査や歴史的資料の調査研究、報告書を作成することは、失われつつある埋蔵文化財や散逸する資料を後世に継承することとなり、節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
下ヶ戸貝塚発掘調査報告書刊行を完了し総括することができた。このことは我孫子だけでなく日本全国の縄文時代研究の指標となりうる成果である。また井上家など市内旧家資料の整理とデジタル化は、資料の保存と活用に寄与するものである。	遺跡の発掘調査や歴史的資料の調査研究、報告書を作成することは、失われつつある埋蔵文化財や散逸する資料を後世に継承することとなり、節の目的に合致しており有効な施策である。資料のデジタル化を推進することで、インターネットを使用して世界に発信できることや資料の保存性を高めることから今後も推進していく。
改善検討	
施策展開の改善点と展開方向	
発掘調査で得られた知見を情報化する手段として重要遺跡の発掘調査報告書刊行を継続し、我孫子の歴史を顕彰していく。また資料のデジタル化は広く情報公開することに加え、災害や亡失へのリスク対応として今後とも継続して進めていく。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	歴史的・文化的遺産に関する情報発信の拡充	施策コード	53303	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	歴史的・文化的遺産の保存・活用			関係課	
	(3) 節の目的	文化財を保存し、市民に広く親しまれるように活用します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	我孫子市の歴史的・文化的遺産を広く知らせていくため、さまざまな施設や媒体を活用して公開する場や機会を確保するとともに、市民団体や関係機関、小中学校などと連携し、地域の歴史や文化について学ぶ機会を増やすなど、歴史や文化に親しめる環境づくりやしくみづくりを進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市内外の人々			
どういう状態に		我孫子の歴史や文化について知る機会が十分提供されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子市の文化財について総合的な窓口となる「あびこ電腦考古博物館」は情報更新頻度を上げて、より多くのアクセスを得る工夫が必要。説明板・誘導板は設置場所は土地所有者と管理者との調整が必要。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 「文化財展」への入場者数	歴史的・文化的遺産の活用事業の効果を知るためには、展示会への見学者の数は直接的に効果を計ることができるため。					
	② 文化財関連ウェブサイトへの年間アクセス件数	各ウェブサイトの閲覧件数を計ることにより、市内の歴史的・文化的遺産への関心などが計れるため。（電腦考古博物館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、白樺文学館、各イベント等）					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	1,000	1,200	1,200	1,200
		実績値		0	0		
		達成率		0.00	0.00		
	②	目標値	件	180,000	240,000	245,000	250,000
		実績値		230,190	357,465		
		達成率		127.88	148.94		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	657	423	766	766
		人件費	5,481	5,340	5,874	3,649
		合計	6,138	5,763	6,640	4,415
	(10) 実績値 (千円)	事業費	657	396		
		人件費	5,481	5,340		
合計		6,138	5,736			

施策を構成する事務事業

事務事業名	文化財説明板・誘導板の整備				課名	文化・スポーツ課		
指標	説明板・誘導板の設置数(累計)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	75	目標値	77	単位	基	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	77	達成率	100.00			予算額	423	1,958
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	396	1,958

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

ローマ字表記で外国人観光客に対応できていない誘導板、経年劣化している誘導板が多くあるため継続的に整備する必要がある。

事務事業名	文化財展示会の実施				課名	文化・スポーツ課		
指標	文化財展示会来場者数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	1,200	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	280	達成率	23.33			予算額	0	1,958
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,958

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

我孫子市には人文系展示施設がないため、市民が気軽に触れ親しむ機会を提供するため、事業を継続する必要がある。

事務事業名	電腦考古博物館の運営				課名	文化・スポーツ課		
指標	電腦考古博物館アクセス件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	230,190	目標値	240,000	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	357,465	達成率	148.94			予算額	0	1,424
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,424

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

ホームページでの情報公開を行うことで、文化財の普及啓発を積極的に推し進める効果があると同時に、電話問い合わせの削減も図ることができる。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
「あびこ電脳考古博物館」ホームページを通して市内史跡や歴史に関する情報を積極的に公開することは、節の目的に合致しており有効な手段である。	様々な施設や媒体を通じて我孫子の歴史的・文化的な遺産を広く市民に知らせることや市民団体、関係機関、小中学校と連携し学ぶ機会を増やすことは、節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
コロナ禍においても、リモートで我孫子の歴史文化財情報を取得できる「あびこ電脳考古博物館」は存在価値が高まった。また白樺文学館、杉村楚人冠記念館で展開しているSNSでの情報発信は、フォロワーの数を増やすことに成功し、即時性の高い情報発信手段として有効であった。	コロナウイルス感染症の影響等で、「あびこ電脳考古博物館」へのアクセス件数は当初目標より1.4倍強となった。我孫子市の歴史的文化的遺産を多くの市民に発信するツールとして、今後もインターネットやSNSを活用した情報発信は効果的であり、引き続き推進していく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
アビシルベなどと連携した動画配信、スマホアプリ等を活用した情報発信を拡大していく。	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	